

かねざわ 第95号

2026年（令和8年）2月

- (P-2) フォーラムKANAZAWA、六浦フェスタ、
パネル展、出展報告
- (P-4) 分科会代表との連絡会報告

目次

運営委員会からのお知らせ

- 2 フォーラムKANAZAWA、六浦フェスタ、
パネル展、出展報告
- 4 分科会代表との連絡会報告

学習会記録

- 8 第6回学習会 <<探訪>>
『みなとみらい40年』
- 14 第7回学習会
『伊勢と西行法師』

分科会からの便り（活動記録）

- 19 「寺社を巡る会」
- 26 「古文書を読む会」
- 27 「ふれあいの道歩こう会」
- 30 「懐かしの映画を観る会」
- 36 「浮雲俳句会」
- 40 「パソコンを使いこなす会」

会員の動静

- 43 野々山さん 叙勲受賞

行事予定

- 44 2026年3月～5月の予定

【お願い】 会員の皆さまの寄稿をお待ちしています



金沢区生涯学習“わ”の会

ホームページ：<http://Kanazawa-wanokai.in.coccan.jp/>

メール：asahina5rou@gmail.com

令和7年度 フォーラム・六浦フェスタ・パネル展 出展報告

2025年も、新しい仲間を増やして活動をより活発にするために、学習会活動や分科会活動の魅力を広く発信することに力を入れた。11月には区役所で恒例の「フォーラム KANAZAWA」、昨年につづき六浦地区センターでの「六浦フェスタ」、11月末から12月初めにかけて区民ギャラリーでのパネル展に出展した。

1. “フォーラム KANAZAWA (2025年11月2日(日))

「フォーラム KANAZAWA」は金沢区で活動している「街の先生」や「登録団体」が日頃の活動成果を発表し相互に交流を図ることで金沢区の市民活動・生涯学習が活性化されることを目指している。当会は金沢区の有力登録団体として今年も参加した。

- ・場所 区役所・金沢公会堂 “わ”の会は、金沢公会堂1・2号会議室に出展
(参加団体・街の先生24、参加者・来訪者300人/主催者側発表)

- ・概要 準備は3月から始められ、7月からは参加者で構成する「実行委員会・運営委員会」で、会場のレイアウト検討、宣伝・案内チラシ作成、当日配布するプログラムを作成し、前日にはイスやテーブル・パネルの運び出し等の作業を行った。当会は斧原と福島の2名が担当した。

昨年の反省を生かし、パネルやプレゼンビデオの見やすさ向上・興味を引くよう工夫をした。しかし今年は3連休中日の日曜日であり、近隣の他のイベントとも重なり来場者が少なく、盛り上がりには欠けた。準備の良否以前の問題として、この催し自体の名称(フォーラム・生涯学習)や開催場所(区役所)が堅苦しく、楽しいイベントをイメージさせない上に、事前の宣伝方法(チラシ内容他)等に改善の余地があり、一般の区民へこの催しの魅力を伝えきれなかった。参加者のアンケートを見ると来てくれた人の評価はそれほど悪くはなく、“わ”の会への入会問い合わせや入会者もあり、成果はゼロではなかった。



2. 六浦フェスタ 2025 (2025年11月15日(土)~16日(日))

六浦フェスタには昨年から参加しているが、当会の日頃からの取り組みが評価されたのか、とても優遇していただき、昨年と同じ、広い会場を割り当てられたので、“わ”の会の全体活動紹介、学習会活動、および全ての分科会の活動紹介パネルを展示することができた。

- ・場所 六浦地区センター(“わ”の会は2F 娯楽コーナー)(入場者1828人/参加団体含む)
- ・概要 「六浦フェスタ」は日頃から地区センターを利用している人たちや近隣の人たちが多く集まり、フォーラム KANAZAWA の6倍の入場者があり賑やかだった。

エントランスには、お花屋さん、クレープを売るキッチンカーや焼きそばやフライドポテトの出店もあり、1階のケアプラザでは、助産師会、食生活改善委員会、保健活動、保護司等の活動紹介があり、七宝焼・アミーガ・畳へり等のワークショップや物品販売のコーナーが出ていた。

2階は、広い会場にたくさんのグループが写真や絵画を展示し、歴史関係団体や横濱金澤シティガイド協会などお付き合いのある団体も参加していた。体育室のステージでは、ダンスや歌、昭和歌謡、お囃子や太鼓・盆踊り、ギターやバンド、パフォーマーなど多彩な出演者で賑わっていた。

3階には書道の展示があり、軽食も提供され、お茶席まで設けられていた。来訪者が多く、説明しながら渡した募集案内チラシが途中でなくなり、急ぎ増刷したほどだった。

去年は同室でお向いの「ミニ水族館」が子どもたちに大人気だったので、今年は私達が“野鳥の動画”と“わ”の会のプレゼンビデオをセット上映する「ミニ映画館」を設けることにした。今年のお向いさんは「占いコーナー」で順番待ちの席がある。事前にこの待合席の配置図を知らされていたので、その人たちからも見えるよう大型モニターを配置した。テレビでコマーシャルと本番組がセットで放映されるように、小鳥の動画を楽しみつつ当会の活動紹介も多くの人に見てもらえた。“わ”の会に興味を持つ人も多くいて、会報や入会案内を40部以上配った。新たな会員が多く入会することを期待したい。



3. 令和7年度 活動紹介パネル展 2025年11月30日(日)～12月6日(土)

- ・場所 区役所2階 区民ギャラリー
- ・概要 区民活動センター主催の、登録団体・街の先生の活動紹介です。コロナ禍で、フォーラムが開催できないときに、登録団体の活動紹介の場として、始められたもの。

パネル展は1週間ごとに3期に分けて行われ“わ”の会は最終期に他の7団体と共に出演した。出展物は“わ”の会全体活動紹介、分科会総合紹介パネルの2枚。ギャラリーは区役所2階の端にあるため訪れる人がやや少ないのが残念。

(会期中に募集チラシ11枚、会報12部が持ち帰られた)当会は、日頃からお世話になっている区民活動センターへの協力の意味もあり参加した。このパネル展では、手持ちのパネルや資料が利用でき、準備の手間をそれほどかけずに展示参加できるのは利点。



第21回 分科会代表との連絡会 報告

“わ”の会は「学習会と分科会の両輪で、金沢の歴史を学び、豊かな生きがいをつくる」ことを目的に活動している。そのためには日常の連携活動だけでなく“わ”の会全体の活動の方向性や分科会との関係、課題などを話し合い・調整することが重要で、毎年その場を設けている。

今年度は2026年1月10日（土）に、区民活動センター会議室にて運営委員と分科会の代表が参加し、総勢14名で、現状の認識、次年度の活動計画、状況の変化と課題、その対応などについて松崎副代表の司会・進行で話し合われた。



1. 鶴岡代表挨拶

冒頭、鶴岡代表よりこの連絡会開催の趣旨が説明され、今年度の特徴として新入会員が21名も入ったこと、一方で分科会への入会者がそれほどでもないことが説明された。

2. 分科会からの報告

続いて、分科会代表から2025年度の活動報告と2026年度の活動予定や課題が報告された。

1) 「寺社を巡る会」

会員総数はほぼ横ばいで推移している。訪問先は金沢・鎌倉・横須賀を主体にしており、現地の案内は各地のガイド協会に依頼している。高齢化に伴い歩行に無理がないよう、昇殿拝観、法話を増やす等を考慮している。また夏冬の気候が厳しい時期はDVD鑑賞（国宝へようこそ）にした。

11月の特別バス探訪では「甲州に武田家ゆかりの寺を訪ねる」というテーマで、天目山栖雲寺を訪れたが、ほんとうの山の中で、住職の話が面白かった。

来年度も無理のない計画を進めるが、金沢・鎌倉・横須賀に加え横浜の探訪を検討している。会の運営上は、他の分科会と同様に会員の高齢化、役員不足が悩み。

2) 「古文書を読む会」

古文書を読む会は、この20年くらい1か月前に古文書（江戸時代主体）を配布し、予習してもらって次回に成果を発表するという方法でやってきたが、12月からはそれをやめ、講師（真田代表）が当日資料を配り解説する方式に変えた（予習不要）。古文書を読むのではなく、講師の興味あるテーマを取りあげて話す。時代も江戸に限らず、日本の始まりから現代まで。

12月は「書き言葉日本語表記の始まり、古事記・日本書紀」を取り上げた。次年度学習計画として14テーマをあげたが、これはやりたいことの半分ほど。何月にどれをどのくらいやるかは

試行しながら決めて行く。1月は「出雲王朝は存在したか」「法隆寺と夢殿の謎」を取りあげる。

3) 「ふれあいの道歩こう会」

会員の高齢化が進んでおり、体力に見合った安全・安心第一の山歩きを目指している。2025年度は定例会をすべて実施したが、3コースについて、下見時にコースが高齢者には危険と判断したり、バスの時間が変わり計画通りの実施が難しいなどの理由で変更した。

残念なのは、11月例会で転んで手のひらを骨折する事故が発生し、ずっと続いていた無事故記録が止まってしまったこと。事故にはスポーツ保険を使った。

今年も8月を除き11回の山行計画を立てた。安全な山歩きをするために状況に応じて柔軟に計画をすすめて行く。2026年の1月は、富士山を見に行く。また9月には、コースが火山ガス（噴煙ガス）で入れなかった神山の立ち入り禁止が解除されたので、計画に入れた。

会員数は14名、ビジター会員は10名。毎回10～15名くらいの参加者がいる。

4) 「懐かしの映画を観る会」

毎月2回で年24回開催の計画。これまで順調に来たが、1月は会場が取れず休みとなる。参加者は平均で38名。目標にしている40名になかなか届かない。昨年の新入会員は5名。

1視聴当たりのコスパ（年会費1000円）の良さと手軽さが人気。

2026年度は会員から鑑賞作品の希望を聞き、5月と8月の4本をラインアップに加えた。

課題は競争者が増えて会場の確保が難しくなったこと、レンタルビデオ店の縮小で懐かしの映画の品揃えが少なくなり上映作品の範囲が限定されつつあること。

5) 「浮雲俳句会」

現在会員数10名。昨年同期は14名いたが5名が病気や体力的問題で退会し、1名入会した。2025年度の活動は予定通り開催し、9月に20周年記念句会を1年前倒しで実施。記念行事に“わ”の会の代表・副代表も参加した。記念句集を会報93号に掲載した。

代表の小俣氏が体調不良のため、20周年行事を機に退任し、中村氏と大黒氏が暫定代表・副代表を務めている。

句会の運営は、従来の方式を引き継ぎ、先輩諸氏の指導を受けながら楽しく進めていきたい。会員の減少を避けたいので、気候の厳しい時はメール投句なども検討し、新人募集にも努めたい。しかし、顔を合わせないと句会の楽しさが半減するので、できるだけ集まってやりたい。

6) 「パソコンを使いこなす会」

近年パソコンの用途が広がり、昔はワード・エクセル・ネットができればよかったが、今は勉強することが多くなって、講師ひとりでは対応できず、4人の会員（林、高橋、熊谷、水野）が分担して講師を務めている。2025年度は、Word、Internet、スマホ、EXCEL、Windows、パワーポイントの計24講座を実施した。会員数21名（男性15名、女性6名）。各回の出席者数は、平均16名（出席率87%）ほど。

2026年度は、AIをやりたいとの声が高く、4講座を予定している。

3. “わ”の会の運営に関する報告

分科会からの報告に続き、運営委員会側から会の活動全般について報告した。

1) 学習会について

2025年度の学習会は8本立てで実施した。通常の学習会を6回、探訪1回を完了し、あとは2月の公開歴史講座を残すのみ。

2026年度の第1回学習会（5月総会時）は恒例により会員の三瓶氏、2回、7回、8回は初めての講師に依頼したが、なぜか講師名に佐藤氏、伊藤氏が多くなった。

10月の探訪は、地元に戻り釜利谷地区を歩く。ガイドも自前でやる予定。

2) 来期の体制について

今期の運営委員は7名（代表1名・副代表2名・委員3名・顧問1名）。来年度は1名退任する予定なので、新規事業はもとより通常事業の維持も危ぶまれる。運営委員の強化が必要となる。

2年後の2028年は“わ”の会創立30周年にあたる年であり、記念事業を行うため2026年度に「記念事業実行委員会」を組成する予定。式典の準備はそれほど問題ではないが、「かねざわの歴史事典（第4版）」の編纂が大仕事となる。

3) 会報について

会報は年4回予定通りに発行した。会員に配布する以外に、「歴史団体2つ」、「ゆめかもん」に渡している。記事は例年通り「学習会報告」「分科会からの便り」等の活動状況が主体だが、今年度は「浮雲俳句会の20周年記念俳句集」を掲載したことが特記される。「会員の投稿」については、一般からの投稿がなく、新入会員に当会の感想を書いてもらって掲載した。

2026年度も4回発行を予定するので、分科会からは活動報告だけでなく、エピソード等の寄稿をよろしく願います。

追記：一般会員からの投稿も大歓迎ですので、エッセイや紀行文、研究成果などをお寄せください。

4) ホームページ（HP）・“わ”の会通信について

① ホームページ・・・2004.10.23に開設、満21年

HPには、学習会および各分科会の年間計画を載せるとともに、個別活動の、集合時間や場所・注意事項などをタイムリーに掲載して円滑な活動を支援している。また実績・実施記録等を閲覧可能な状態で保管している。会員の寄稿（写真集・レポート）、会員の動静、会則、蔵書リストを掲載し、会員間の情報交流や会員の利便性向上に役立っている。さらに一般向けの活動紹介や入会案内も載せている。

2025年のアクセス数は、542回/月（18回/日）で、よく利用されてる。昨年、HP運用管理を改善したが、HPそのものもさらなる改善が必要。人材面でも補強が必要な状況。

② “わ”の会通信・・・2005.3.9に創刊、約21年

学習会の案内（約10日前）や、会員に役立つと思われる催し物・イベントなどの案内をメールで直接会員宛に配信している。発行数は創刊以来443号（毎年15～20回）になった。

“わ”の会通信のバックナンバーもHPで閲覧できる。“これは、わ”の会の活動を細かく追える年表の役割を果たしており、“わ”の会の歴史資料としての価値が高い。

5) 活動紹介（フォーラム金沢、六浦フェスタ、パネル展）報告

高齢化が進む“わ”の会の未来のために、今年度も広報活動、新人募集に力を入れた。分科会との連絡会でも、実績や成果、今後の課題について報告したが、その内容は別記事をご覧ください。

6) 新入会員懇談会・懇親会の推進

この懇談会は2015年より開始した。それ以前は新入会員の定着率がよくなかった。入会しても分科会に入らず、学習会へ行くだけでは会員間の繋がりは生まれにくい。「豊かな生きがい作り」には話せる仲間が欠かせない。そこで、入会者が多い年には新入会員を招き分科会代表・運営委員との懇談会・懇親会を開くことにした。懇談会では“わ”の会の目的や分科会の活動を紹介し、“わ”の

会の楽しみ方を伝えている。懇親会でお互いの交流を図り“わ”の会への親しみを感じてもらえるようにしている。2026年度も一定数の入会者があれば7月に実施する予定。

7) その他

鶴岡代表より、今年度もいくつか課題はあるなかで、分科会に関係することが2件説明された。

①「分科会に“わ”の会の会員でない人がいる」問題

このような問題が運営委員会で提起された。一部の分科会に相談すると「今のままでいい」という意見が多く、規制には反対の声が強かった。運営委員会で再度検討し「分科会でも会員集めに苦勞している。非会員の入会を禁止するとますます厳しくなる。分科会の力が弱くなることは“わ”の会の力が弱くなることにつながるので、今はそれは言わない」ことにした。ただ、“わ”の会に入り会費を払っている会員と、会費を払わない非会員が同じサービスを受けるのはおかしいのも事実。今すぐではないが“わ”の会と分科会がお互いに納得できる解決方法を今後考えていきたい。

参考：この問題は、“わ”の会の「分科会運営規則」に起因している。その6条に「分科会参加者（分科会会員）は原則として“わ”の会会員とする。ただし、分科会が認めた者は会員としてもよい。」とある。「ただし書き」の目的は不明だが、外部講師の参加やあるいは“わ”の会発足当初の特殊事情を考慮したものかもしれない。しかし、“わ”の会は正会員が納める会費により運営されており、非会員が“わ”の会のサービス（HP利用等）を受けることの不公平さがある。今後この状態が広がると、“わ”の会の経済的問題や会内部での軋轢を生む懸念がある。

②「分科会を団体登録して欲しい（ゆめかもん）」問題

金沢区は、生涯学習に関係する「街の先生や団体」を支援している。“わ”の会も登録しているので区役所のレターボックスや会議室を無料で利用できる。昨年末に3年に1度の更新手続きがあり、その際分科会も個別に団体登録するようにとの話があった。しかし登録には手続き書類（役員名簿、規則等）の提出が必要で、活動報告や日常連絡などもあり事務作業が増えてしまう。使えるレターボックスの数は減るが、会議室の借用は「“わ”の会の〇〇会」といって予約すれば、今まで通りできるので、団体登録はこれまで通り「“わ”の会一本」とする。

参考：現在“わ”の会は、本体一本で団体登録し、書類には分科会があることを明記している。分科会のレターボックスについては、資料の受渡しや用紙保管で利用している分科会もある。ゆめかもんの意図は、一般区民から入会したいサークルの相談がある際、登録団体リストを見せて説明しているが、今は分科会名が表に出ていないのもっと説明し易くしたいこと。もう一つは、レターボックスを分科会の分も含め8つも借りているので、その使用先を明確にするとともに、登録団体が減っているなのでその数を増やしたいということもあるようだ。

今年の連絡会では、様々な課題が提起され、活発に意見が交換される有意義な会となった。連絡会の後、カバズキッチンへ席を移し運営委員会と分科会代表との懇親会で更に議論と懇親を深めた。

2025年度 第6回学習会

『みなとみらい40年』

探訪実行委員 浜辺 隆文

開催日：令和7年10月10日（金）

ガイド：NPO 法人横浜金澤シティガイド協会

コース：桜木町駅（9：30）～ランドマークタワー～ドックヤードガーデン～臨港パーク～ハンマーヘッド～JICA 海外移住資料館～自動車～JR 桜木町駅 12：30

（その後、解散式） 行程 6 km、3時間

参加者：会員 44名 ビジター0名

「みなとみらい21」事業は戦後、戦災からの復興に当たり横浜市が東京のベッドタウン化を避け個性ある自主都市を目指すため昭和40年に構想を打ち出しました。1983年の着工から40年が過ぎ最終段階に入りました。ランドマークはじめ象徴的なスポットを見て回り40年を振り返ります。

桜木町駅からランドマークタワーへ

当日は心配された天気も晴れ上がり、桜木町駅東口広場に集合、先着順に5班に分かれて出発した。桜木町駅は、日本で最初に鉄道が開通され、新橋駅からこの地まで開業された時の終着駅の初代横浜駅である。ランドマークタワーへはエスカレーター、動く歩道に乗り、右手に帆船日本丸を見ながら歩を進めた。

ランドマークタワーは大阪の「あべのハルカス」が出来るまで20年間日本一高いビル（296m）であった。現在では「麻布台ヒルズ」が330mで最も高い。

ドックヤードガーデン

ランドマークタワーの地下の飲食店通りを通りドックヤードにでる。



（ランドマークタワー）



（ドックヤードガーデン）

ドックヤードガーデンは地下 2 階、底部の高さ約 100m、幅約 14m、深さ約 10mあり 1896（明治 29）年に竣工、旧横浜船渠 2 号ドックを解体、復元、広場として活用、現存する商船用石造りドックで国の重要文化財である。ドックをでて隣のクイーンズの間のもニュメントのある広場を通り抜け横浜美術館のあるグランモール公園へと進む。



（グランモール公園）

横浜美術館の壮麗で美しい建物は丹下健三の設計による。グランモール公園の左右には横浜メディアタワー（NTT 関係企業）、42 街区リーフみなとみらい（みずほ信託銀行）、みなとみらいグランドセントラルタワー（三井住友信託銀行）、裏 43 街区に神奈川大学キャンパス、45 街区グローバルラーニングセンター（三菱 UFJ 銀行）、対面横浜ブルーアベニュー、（みずほ信託銀行）、横浜アイマーク（MM21 関連清水建設）等の高層ビルが立ち並ぶ。グランモール公園つきあたりのすずかけ通りを右に曲がる。このあたりは高層マンションが建ち並ぶ。途中高島中央公園を通り抜け横浜パシフィコノースを通り抜けると臨港パークにでる。

臨港パーク

臨港パークは中央に芝生広場があり前は横浜港の海とベイブリッジを望み、バックにはザ・カハラ・ホテル、パシフィコ横浜などを眺望できるみなとみらい最大の緑地である。



（臨港パーク）

右方に見えるザ・カハラ・ホテルはビル上部が突き出た建築が特徴的である。

横浜パシフィコ（横浜国際平和会議場、1991 年開業）には会議センターとインターコンチネンタルホテル、5,000 人収容の国立大ホールがある。臨港パークから海岸縁を歩きコンチネンタルホテルの横を通り女神橋を渡る。しばらく歩くとハンマーヘッドにたどり着く。

ハンマーヘッド



（ハンマーヘッドからの眺望）

ハンマーヘッドは 2019 年開業の地上 5 階建ての複合施設で客船ターミナル、商業施設、ホテルなどからなる。その名は歴史的遺稿である「ハンマーヘッドクレーン」

に由来する。同クレーンはイギリス製で1914年に設置された定格荷重40トン、電気定位置式起重機で日本初の荷役クレーンである。ハンマーヘッド2階テラスからの景色はみなとみらいの主な高層ビルと海が一望に見渡せる素晴らしい眺望である。

JICA 海外移住資料館

正式名称「国際協力機構（JICA）横浜センター」は地域国際交流の拠点で、年間800名近くの研修員を受け入れ、公的機関や民間団体を主な研修場所としている。日本人の現在を伝える海外移住資料館は、1860年代にさかのぼる多くの資料や標本を時代に沿って展示しています。

日本人が「なぜ海外に行ったか」、「どんな仕事に就いたか」、「どのように暮らしていたか」、移住の背景、道のり、仕事や暮らし、コミュニティ形成について紹介しています。今回はゆっくり見て回る時間がとれなかったのでまたの機会を待ちたい。

汽車道



(汽車道)

1911年（明治44年）に開通した臨港鉄道の廃線約500mを利用し、1998年に遊歩道として整備されました。桜木町と新港地区を結んでいる。また2021年からは汽車道に沿って上空をロープウェイのエアーキャビンが運行されています。（桜木町駅前広場から運河パーク駅まで）

おわりに

当日は天候に恵まれ、みなとみらい散策を楽しんでいただけたと思う。事故もなく、無事終了できた。みなとみらい地区は何度も来てはいるが今回のように歴史的説明を聞きながらゆっくり歩くと今まで知らなかったことや改めて確認できたことが多く、非常によかったという意見が多く聞かれた。

みなとみらい40年

講師：探訪実行委員会・NPO 法人横濱金澤シティガイド協会

出席者		一般会員	委員	計 (出席率%)	ビジター	合計	アンケート (提出率%)
	男	27	6	33 (38.4%)	0	33	
女	11	0	11 (36.7%)	0	11		
計	38	6	44 (37.9%)	0	44	31/38	

①探訪内容評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	D. つまらなかった	チェック無し
23名	7名	1名	0名	0名

- ・三菱のドックは下まで行った方が良かった。MM の奥まで探訪したことがなかったので知見が広がった。
- ・「みなとみらい」は何回も来ていても知らなかった所を観ることができてとてもよかった。
- ・天気も良く、みなとみらい散策には最高でした。最後の JICA で昔の日本人の苦労がしのばれた。
- ・「みなとみらい 21」は断片的に知っているだけでしたが、今回は地図でしっかり確認しながらめぐることができて、多くのことを知ることができました。
- ・いつも何か目的がある時にしか訪れたことがなかったところを (目的地に一直線) じっくり見て回れてよかったです。ようやく、みなとみらいの地理がわかりました。JICA はまたゆっくり来ようと思います。
- ・今までご縁がなく行ったことのないところが多く新しい話をたくさん聞けた。
- ・「みなとみらい」の変貌ぶりに驚きました。ガイドの方のわかりやすい説明で新知識も増えました。
- ・天候に恵まれ寒くなく暑くなく最高でした。開発前の地を知っているので発展にびっくり!! 小さな旅をしたようでした。
- ・天気&説明ともに抜群でした。
- ・説明された方が大いに丁寧であった。海を見ながら昼食を食べるのはいかがでしょうか。今回は残念でした。
- ・普段見慣れた風景を一つ一つ丁寧にガイドしてくれて改めて横浜の歴史の深さに感動しました。ガイドさんありがとうございました。
- ・みなとみらいはいつも新しく変わっている。博覧会からの街の出来上がっていく様子を実感できてよかった。JICA の展示は移民の苦労の歴史が今も解決できてないことを知らされる。
- ・何度も歩いたところですが、天気が良く快適だった。
- ・久しぶりに「みなとみらい」を歩きました。新たな発見もあり大変楽しい時間でした。ガイドの方も親切丁寧に説明いただきました。
- ・個人ではなかなか来れないところを見学できた。

- いつもと違う道を通っての「みなとみらい」面白かった。
- 体系的に街づくりを見るのは初めて。地区の完成まじかで新しい建物が多くお上り気分になった。
- コースが良かった。来たことのある所でも新しくなっていた。
- 15年ぶりに MM を歩けて懐かしくまたいろいろと変わり楽しく過ごせました。
- 通常行くことのない MM 地区の先端まで初めて行った。
- ガイドの説明が分かり易かった。歩く速度も皆さん同じように歩けたので良かったです。
- みなとみらいコースは天気も良く大変良かった。

②探訪を希望する場所

- 深田地区（栄区？）製鉄関連の場所
- ベイブリッジの下の歩道を歩く。ミュージアムとかジャイカとかに時間を使いたい（長谷川）
- 鎌倉
- 市内外
- 横浜市内でも知らない箇所があるので探訪したい。相鉄線沿線など

③探訪の運営について

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	D. 良くなかった
15名	13名	2名	0名

記入なし1

- 無線システムでの説明は聞きやすかった。
- 休憩時間を取って水分補給する時間が欲しい。
- ガイド（2班）が明るく楽しい気分にさせてくれました。ありがとうございますの一点です。
- 運営にたくさんの方がかわってくださり感謝します。
- 金澤ガイドの方の説明が良かったです。天候にも恵まれました。
- 途中でへばって歩けないかと思っていましたがゆっくりのペースで完歩できました。ありがとうございます。
- いつも通り良かったです。
- いつも大変ご苦労様です。
- 理事の方お疲れさまでした。
- 少人数による案内と無線システムを使った案内は分かり易く、今後も採用してほしい。
- 担当の方の説明が良くわかりやすかった。ありがとうございました。
- 横浜に住んでいても新しくなった「みなとみらい」へはなかなか足を運ぶ機会がなかったので、いろいろ勉強になりました。
- 熱心にガイドしていただいたが歩くのが早く少々疲れた。
- 良かった

④”わ”の会について、何でもお書きください。

- 毎回役員の方々の労力、ご苦労様です。
- 緑色の冊子はどこで手に入りますか。
- いつも計画、実施お世話になりました。
- VERY GOOD

運営委員代表の意見・感想

毎年、第6回学習会は探訪です。今年はスタートから40年経過し、横浜の顔となった「みなとみらい21」地区を歩きました。会員の皆さんは、横浜在住で同地区には何回も訪れていると思いますが、今回のように地図を片手に歩くというのは初めてという方が多く好評でした。好天に恵まれたということもありますが、NPO 法人横濱金澤シティガイド協会のガイドも丁寧でした。

“わ”の会代表 鶴岡重典

2025年度 第7回学習会

『伊勢と西行法師』

編集委員 福嶋 恵美

開催日：2025年11月8日（土）

9：30～12：00

会場：能見台地区センター 大会議室

講師：鶴見大学他非常勤講師 石澤一志氏



【はじめに】

一昨年度、石澤一志先生には『中世の東国と和歌』についてご講義いただき、西行の二度の奥州への修行の旅についてその折々に読まれた和歌と共にご教授頂いた。

昨年度は、『西行法師の「西国」修行』について讃岐で崇徳天皇の霊を慰めることを主な目的とした旅についてお話を頂いた。

今回は、『伊勢と西行法師』のテーマで今までご講義頂いた西行の生涯や交友関係、旅や和歌などについて振り返りながら、永らく過ごした高野山を離れ伊勢に移住するその後半生を中心にお話頂いた。

【西行とゆかりの人々】

<平清盛>

平清盛とは、同じ年に生まれ共に北面の武士として朝廷に仕えた時期があり、旧知の間柄であったようだ。1177年西行60歳の時に平清盛が津の国わだで催した法華経を読経する僧を千人招いて行う「千僧供養」や「万灯会」に西行が参加していることや紀州日前宮に関するもめごとを清盛に采配してもらったことなどからも二人の信頼関係が伺われる。

<藤原俊成・藤原定歌親子>

父俊成とは、崇徳天皇の歌壇を通じて長年の交流を持っていた。その縁からその子である定歌とも接点があり1186年に西行から「二見浦百首」を勧進されている。

また晩年二度目の奥州への旅から帰京し、伊勢神宮の内宮外宮に奉納する自歌合「御裳濯河歌合」「宮河歌合」の加判を依頼している。

<源頼朝>

ゆかりというには適切ではないが、文治二年（1186年）俊乗房重源の委嘱に従い東大寺再興勸進のため平泉の砂金を求めて同族の藤原秀衡の元を再訪している。旅の途中鎌倉で源頼朝と会見し終夜兵法を語った。この時伝授された作法を元に、翌年から鶴岡八幡宮では流鏝馬の奉納が放生会の神事として定着したという。

「風になびく富士の煙の空に消えて行方も知らぬ我が思いかな」

は、この旅の所産である。

【伊勢と西行】

「いまぞしるふた見の浦のはまぐりをかひあわせとておほふなりけり」

これは、伊勢の二見ヶ浦の浜で貝合わせに使う蛤を採取している様子を歌にしたものだが、西行は、若いころから神道への信仰があった。後年1180年（63歳の時）には戦乱を避け高野山を離れ伊勢に六年間移住しているが、その背景には、本地垂迹説（仏・菩薩が人々を救うために色々な神の姿を借りて現れたとする思想）両部神道への共鳴があったとされる。

「榊葉に心をかけん木綿垂でて 思えば神も仏なりけり」

の歌には、その思想が表れている。

また、太神宮御祭日に詠んだとされる

「何事のおはしますをばしらねどもかたじけなさに涙こぼるる」

の歌には、伊勢神宮に対する畏敬の心が深く感じられる。

【おわりに】

西行について伺った今までの3回の講義を振り返り、心に残ったことは、まず、歌人や僧はもとより時の権力者、神官、宮仕えをしていた頃の女御など実に様々な人たちと交流があることである。

「いつしかもあけてかひあるはこみればよはひものぶる心ちこそすれ」の歌にもあるように海辺でたくさんある貝の中から、自分に送るためにあれこれ選んでくれているというのは、女子にとって本当に心憎い贈り物である。

そうしたところからも西行の人を魅了する人柄が伝わってくる。

さらに、西行に影響を受けた著名な人々として、新古今和歌集の慈円・良経・家隆などの歌人たち、隠者・草庵文学者の兼好法師、自らの文学性を旅に解放してゆく生き方は、宗祇や芭蕉に継承されているという。現代でも様々な研究本があり、教科書でも和歌にお目にかかることができる。人は忘れられた時に本当の死を迎えると良く言われるが、西行は今も人々の中で生き続けているのだと思う。

そして、仏教と和歌の道を究めるためには、家族や地位を捨て一人で歩いて行く必要があったのだらうと思う。以前は、西行は自由に思いのまま生きているように思っていたが、今はとても厳しい生き方だと思う。

伊勢と西行法師

講師: 石澤一志氏

出席者		一般会員	委員	計(出席率%)	ビジター	合計	アンケート(提出率%)
	男	40	4	44(50.6%)	0	44	
	女	13	1	14(46.7%)	0	14	
計		53	5	58(49.6%)	0	58	33(62.3%) 33/53

①学習会内容評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	D. つまらなかった	チェック無し
16名	14名	2名	0名	1名

- ・西行は大河ドラマなどでも源平時代の陰の人物のように描かれているが、今回は脚色的でない本来の姿がうかがえる内容でした。
- ・話のテンポが良く、解説も分かり易く、時間のたつのを忘れるほどだった。
- ・「山家集」が歌集であると同時に歴史学的資料としても貴重であることを再確認できた。また、折口信夫のエピソードなど余談も大変興味深く聞くことができた。
- ・西行といえば「願わくは花の下にも…」をすぐ思い出す。その余について多くの和歌を詠む機会に接し楽しい学習会でした。ありがとう。
- ・文学と歴史のつながりという新しい視点を教えて頂き、目からウロコの感じでした。今までは歴史は歴史、文学が文学というとらえ方でしたが、考えてみれば、当時の世相を反映しているのだから文学作品にそれがあらわされているのは当然で、色々学ぶことができるとわかったことが今日の収穫でした。パソコンですぐに字を出していただいて分かり易かったです。
- ・具体的で良かった。
- ・①西行と平清盛が同じ年齢で職場を同じにしていたことは知りませんでした。②西行の出家の理由を知りたいと思いました。③高野山から伊勢への移住に本地垂迹説の背景があるかもと思いました。④後世に残る和歌の数々に魅かれます。
- ・西行と鎌倉や横浜(金沢)との関係があれば知りたいですね。東北に2回往復したようなので。「1186年8月15日。源頼朝と交渉す」とのことなので、その辺りが興味深いですね。
- ・神仏習合に興味があったから具体的な話で分かり易い独自な見解が面白い。
- ・理解は難しいが、歴史上の人物として西行を和歌を通じての話は楽しく聞くことができました。
- ・昨年前回に続き西行に関しての講演を開催頂き感謝いたします。講師の話のテンポがいささか速く感じられました。話が飛ぶが追いつけず。
- ・西行のことが良くわかった。

- 歌人としての西行の認識であったが、今回歴史上の背景から説き起こされた講演を通じて、平清盛との関係、神仏習合の実践など認識の幅が広がり興味が深まった。
- 話が早口で聞き取りにくかった。話があちこちとんでわかりにくかった。西行の一生は良くわかった。
- 博識
- 和歌から見る歴史をまた聞きたいです。神と仏の間の思想
- 西行と伊勢の関係を知らなくて良かった。
- 石澤節
- 話のスピードが速すぎる
- 西行のイメージが良くわかりました。もう少しゆっくり話していただければありがたいと思いました。
- 歴史も古文も高校で終わった人生でしたので少し難しかった。でも、わかる範囲では面白かった。
- 学者さんは大変だな。でもいろいろな楽しみもあるんだな。もう少し早口を抑えて。
- 分かり易かった
- 西行は時代の波を乗り越えて、自分を冷静に時代を生きた。
- 話は面白いが話すスピードについていけなかった。

②石澤先生にご講演頂きたいテーマ

- 歌からうかがえる史実について、また色々なテーマで話を拝聴したい。
- 本日の西行のように作品から歴史が読みとける人があればそのお話を伺いたい。藤原頼長「台記」も個人的には興味があります。
- 西行と清盛の関係性の深堀を拝聴したい。また、西行は義経のことをどう思っていたのかなど平家物語との関係性など興味は尽きない。
- 和歌の歴史

③学習会の運営について

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	D. 良くなかった
19名	12名	1名	0名

記入なし 1

- 事務局の皆様、いつもありがとうございます。
- 音響設備の不具合か、開始時間が若干遅れたのが残念
- 継続の手続きを休憩時にやっていただいたのが良かった
- 資料が豊富
- 毎回ご苦労様です。
- いつも大変ご苦労様です。
- 講師の遅れで調整が不十分となり開講が遅れたこと。
- 大好きな西行と定家。和歌の話、楽しかった。わかりやすく解説下さりありがとうございました。

④”わ”の会について、何でもお書きください。

- ・来年度もよろしくお願いします。
- ・12月～3月までお休みなのが残念です。
- ・歴史（近代・中世・古代）について
- ・いつもありがとうございます。少し利口になります。

運営委員代表の意見・感想

第7回学習会は、石澤一志先生に「伊勢と西行法師」と題した講演をしていただきました。ここ3年は石澤先生に西行に関する講演をしていただきましたが、今回が最終回になります。当会は歴史を学ぶ会なので西行を通して、「西行とその時代」を分かり易く解説していただきました。西行は平清盛と同じ年に生まれ清盛よりも10年近く長生きをしたことで、清盛の時代（源平合戦の時代、平家絶頂の時代、平家滅亡の時代）、鎌倉時代の始まりなど激動の時代を生きてきた第一級の人物であったことが理解できました。

“わ”の会代表 鶴岡重典

『寺社を巡る会』活動記録

令和7年度第6回～第8回・特別バス探訪

令和7年度

第6回 釜利谷の古刹住職のお話を聞く

開催日：令和7年10月2日(木) 天候 晴

コース：金沢文庫駅西口広場(集合)～金中橋～中州橋～手子神社～釜利谷小川
アメニティ～福松橋～自性院、山王権現社～禅林寺(住職のお話、
本堂拝観、解散)

参加者：会員27名 ビジター 3名 計 30名

金沢文庫駅西口に集合し、駅前広場をお借りして、資料配布、朝の挨拶、ガイド紹介の後、宮川沿いに歩いて釜利谷の鎮守手子神社に着く。



(手子神社)

釜利谷の領主伊丹左京亮が、文明5年(1473)瀬戸神社の分霊を宮ヶ谷に祀ったのが起源。祭神は大山祇命(オオヤマツミノミコト)。延宝7年(1679)伊丹左京亮末裔・江戸浅草寺の智楽院忠雲が現在地に再建した。境内には千尋の谷から這い上がる子をじっと待つ親、右が父子、左が母子の狛犬や、石灯笼形の庚申塔などは珍しい。また石窟に竹生嶋弁財天が祀られている。蛇の上に人の顔がのっている宇賀神像が祀られている。庚申塔6基・馬頭観音4基・観音塔2基を祀る。

次は、川の源流近くで、自然の景観が残されている場所を水が溢れないような対策を行い、周辺環境との調和を配慮した整備事業の、釜利谷小川アメニティの自然を生かした散策路を通り抜けて福松橋を渡り自性院へ到着。



(自性院本堂)

真言宗御室派。本尊は聖観世音菩薩。寺伝によると伊丹三河守が二人の子供の菩提を弔うため、永正年間(1504～20)に創建したとのこと。寛永11年(1634)幕府御用の菓子商大久保主水忠行の夫人連臺院妙乗日宝信尼が建てたといわれる宇賀山王社が本堂右側の山際に祀られている。本尊の聖観世音菩薩とは別に、焼けただれた高さ30cmほどの聖観世音菩薩が黒厨子に納められている。その厨子に天保8年(1837)に10代目大久保忠記の裏書がある。それによると、宝暦(1751～64)中頃盗人がこの尊像を盗み近くの鍛冶屋で火床の中に投げ込み、延金にしようとしたところ、いくら苦心しても観音菩薩の尊像が崩れなかったので、捨てられてしまった。約10年後に道端で発見され、長い年月を経てお寺に戻ったという。



(禅林寺山門)

最後に訪問した寺院は曹洞宗の禅林寺。ここでは住職の法話を拝聴したのち、本尊の薬師瑠璃光如来ほか脇侍などを間近に拝観することを許された。

金澤ガイドの事前折衝の賜物と蔭ながら感謝する。足利持氏が創建しその息子足利成氏の要請で、明応2年(1493)に下総東昌寺二世能山聚芸禅師が入山したと伝えられる。その後荒廃していたが、伊丹三河守永親が再興した。伊丹一族との関係で安永9年(1780)に東照大権現(徳川家康)の御神影が下賜された。毎年家康の命日の4月17日に一般公開されている。

境内には赤く美しい花を咲かせる彼岸花が、秋のお彼岸の名残りとして花を咲かせている。穏やかな天気でその境内で解散をした。

天候に恵まれ、今月も無事巡拝を完了したことに感謝したい。

(金久保常二 記)

第7回 『ゆったりと鎌倉探訪』

～時宗総本山遊行寺で本堂昇堂参拝～

開催日：令和7年11月6日(木) 曇り

開催場所：鎌倉

コース：藤沢駅北口サンバール広場(集合)～江の島道と道標～感應院～藤沢宿交流館～遊行寺(本堂昇堂、境内拝観)～長生院(昇堂)～東門～藤沢駅(解散)

参加者：会員 25名 準会員0名 ビジター 1名 合計 26名

今回は鎌倉ガイド協会の案内による遊行寺中心の探訪。朝は寒いくらいの気候であったが、次第に暖くなり探訪には最適の天候となった。

藤沢駅から旧江の島街道に沿ってしばらく歩き、まず庚申堂へ。小泉八雲が鎌倉、江の島を来訪した際にも訪れたという境内には20基もの庚申塔が並ぶ。次の庚申の年2040年には、60年に一

度の御開帳があるという。藤沢の町は無電柱化が進み、空間ある街並みの風景が美しい。沿道の電気配分装置を浮世絵などで装飾するアート、トランスボックス・ラッピングが来訪者を楽しませる。

遊行ロータリーには杉山検校が寄進した道標がある。昔はこの道を多くの旅人が行きかい、この道標を道案内として江の島を目指していたのだと思いを馳せる。道標はかつて48基あったとの事。

少し歩いて藤沢宿では最も古い寺院のひとつという感応院を訪ねる。源頼朝が厄除けの為に伊豆三島神社を勧請し、その側に源実朝が寺院を建立したという。三島明神の社殿は回転式で、建築の研究者もたびたび訪れる珍しい建造物だそうだ。

ふじさわ宿交流館でしばしの休憩。当時の藤沢宿の街並みを再現したジオラマが展示されている。藤沢宿は東海道の江戸日本橋から数えて6番目の宿場で交通の要地。加えて遊行寺の門前町でもあり、大山や江の島詣での人達で賑わったという。



(ふじさわ宿交流館)

遊行寺は、「藤沢山無量光院清浄光寺」が正式名。時宗の総本山で一遍上人より数えて4代目の香海上人が開山である。「遊行寺の黒門」と呼ばれる見事な冠木門をくぐり、阿弥陀如来の48願に例えた48段の緩やかないろは坂を上り本堂へ向かう。



(遊行寺冠木門)

昭和12年に再建された本堂は東海道随一の大きさと言われ登録有形文化財に指定されている。

400畳の広さがある本堂に昇堂。柱は外陣に48本、内陣には阿弥陀仏の18願に合わせた18本。



(本堂に昇堂)

内陣には浄土の蓮池を模したという板の間。その奥に185cmの本尊阿弥陀如来坐像が祀られている。当麻曼荼羅に描かれる阿弥陀浄土図の姿に忠実に従い作像されているという。金色に輝き全ての方角を黄金色に照らし衆生を救ってくださることだ。

その後は、遊行寺の境内をゆっくりと探訪した。市指定重要文化財の中雀門、宇賀神社や歴代上人御霊廟などを巡り、遊行寺の支院長生院に昇堂する。小栗判官・照手姫ゆかりの寺で、1429年照手姫によって中興された。



(照手姫の墓)

藤沢市内で最古の仏像のひとつである定朝様の阿弥陀如来像、閻魔坐像を拝観。本堂裏手には小栗満重、十勇士、照手姫の墓や名馬鬼鹿毛の墓があり、小栗伝説に思いを馳せた。敵味方供養塔は、

上杉禅秀の乱での戦没者を敵味方区別なく平等に弔う為に1418年に建立された供養塔である。遙か昔の日本人に根付いた怨親平等の精神に改めて深い感銘を受けた。

最後は、境内の和菓子さんに立ち寄り各々大福やお饅頭を楽しげに購入し、藤沢駅へ向かった。

探訪箇所がほぼ遊行寺ひとつということもあり、ゆったりと楽しんでいただけたと思う。ほんの少しだが紅葉の気配も感じられた。帰りの藤沢駅まではお1人のみ遊行寺からバスを利用された。

(川口 寿 記)

第8回 横須賀中央地区の寺社を巡る

開催日：令和7年12月4日(木) 天候 晴

開催場所：横須賀市

コース：京急汐入駅(集合)～どぶいた通り～諏訪大神社～良長院～京急横須賀中央駅(トイレ休憩)～龍本寺(昇堂拝観)～諏訪神社(解散)

参加者：会員 25名 ビジター 2名 計 27名

今回は横須賀中央地区にある寺社を巡った。横須賀市の中心に位置し、多様な歴史と文化が息づくエリアである。

集合は京急汐入駅前、昭和5年4月1日、横須賀軍港駅として開業。防諜上の理由から昭和15年、横須賀汐留駅に改称。昭和36年に汐入駅に改称。江戸時代、現在の駅の近くに汐留の堰が設けられ、その堰から西側の山すその入り江が汐入と呼ばれていた。

出発前の挨拶をして、どぶ板通り商店街を歩く。ここは日本とアメリカの雰囲気が融合した米海軍基地近くの商店街。スカジャンのお店やミリタリーショップ、アメリカンバーやレストランなどが軒を連ねており、有名な観光スポットになっている。



(どぶ板通り)

どぶいた通りを少し外れて諏訪大神社へ、入口下の社務所に饅絵がある。



(諏訪大神社)

この神社は緑ヶ丘女子高校と聖ヨゼフ病院の間の高台に鎮座している。階段を上り鳥居をくぐるとは高い石垣が組み、更に石段を上がると社殿が建つ。康暦二年(1380)、三浦貞宗が横須賀の鎮守神として当古谷山に信州上・下諏訪明神を勧請。祭神は健御名方命と事代主命の二柱。享和元年(1801)本殿・拝殿の造替があり、現在の社殿は大正12年に造営された。

ホテルニュー横須賀、聖ヨゼフ病院を横見しながら進み、次は良長院(曹洞宗)。建長5年(1253)に没した瀬尾重兵衛良長(長峰城主)が元横須賀郷泊浦に創建、開基。寺域が荒れ果てていたが徳川家康関東入府の頃、現在地に再建移転。ご本尊は釈迦三尊坐像(釈迦如来・文殊菩薩・普賢菩薩)。

三笠通り商店街を抜けて横須賀中央駅でトイレ休憩。平坂という名だが結構な急坂を上り、高級メダカの水槽が並び熱帯魚屋さんを過ぎて左に曲がり、しばらく歩くと龍本寺が見えた。

龍本寺(日蓮宗)の創建は建長5年(1253)。開山は日蓮上人、開基は石渡左衛門。ご本尊は日蓮聖人32歳像。立宗、布教のために旅立って以降、

日蓮を開山に仰ぐ最も古い寺院で日蓮宗最初の霊場ともいわれる。本堂は江戸時代後期に建てられたといわれる。本堂向拝には龍の彫刻、龍が玉の代わりにサザエを持つのは日蓮上人の故事にちなむもの。本堂の入り口に室町時代の作とされる1メートルほどの大きな鰐口が展示されている。ご僧侶から寺の由緒をはじめ、堂内のご本尊、寺宝の日蓮上人ゆかりのアワビとサザエ、さらには日蓮上人の事績を伝える絵画や彫刻まで丁寧な説明をいただいた。



(龍本寺本堂内)

来た道を戻り最後の訪問は諏訪神社。創建は天正元年(1579)信州諏訪明神を勧請した。祭神は上諏訪社の建御名方命。現在の社殿は大正12年に造営された。境内に、諏訪社の他に大鷲神社・水天宮・稲荷社の三社が祀られる。境内で解散し夫々帰途につく。

多少気温は低かったが風もなく程よい探訪日和であった。坂と階段は多かったが比較的短いコースで無事に探訪を終えた。

(横山美智男 記)

特別バス探訪 「紅葉の甲州に武田家ゆかりの寺を訪ねる」

開催日：令和7年11月27日(木) 天候 晴のち曇

開催場所：山梨県甲州市

コース：能見台(出発)7:30＝港南台 IC＝横横道路＝横浜町田 IC＝東名高速(海老名 SA)＝御殿場 IC＝東富士五湖道路＝中央高速(谷村 SA)＝天目山栖雲寺＝景德院＝恵林寺(昼食信玄館・拝館)＝勝沼 IC＝中央高速(談合坂 SA)＝圏央道＝東名高速(海老名 SA)＝横横道路＝港南台 IC＝能見台 18:50(解散)

参加者：会員23名、準会員2名、ビジター11名 計36名

能見台を予定の7時30分に出発する。圏央道が事故のため渋滞しており、状況によってはコース変更を考えるとガイドさんより伝えられる。予定では東名高速から圏央道さらに中央高速で大月 IC を経て現地に向かう予定であったが、事故の影響が大きいと判断し、東名高速を御殿場まで行き須走から東富士五湖道路で大月 IC を経て甲州市に。東名高速から冠雪の富士山を見ることも出来ました。コース変更したおかげで静岡県側の須走、富士吉田、河口湖から素晴らしい冠雪の富士山を見ることが出来ました。



(冠雪富士を望む)

東名高速海老名 SA で15分、中央高速谷村 SA で10分のトイレ休憩をとり、天目山栖雲寺には10時45分に到着。

天目山栖雲寺(甲州市大和町木賊)は天目山標高1,050mに位置する臨済宗建長寺派の寺院で、貞和4年(1348年)業海本淨(ごっかいほんじょう)によって開山された禅寺です。業海は元(中国)へ

渡り杭州天目山の中峰明本のもと修行し、杭州の天目山によく似た場所を生涯の修行道場として寺を開きました。庭園は巨岩が重なり合った重厚で神秘的な景観で、単なる庭園ではなく座禅修行のための神聖な場所です。



(栖雲寺庭園)

今回当初計画になかった住職のお話をお聞きすることが出来ました。住職は建長寺に在職の方で、鎌倉在住で半分は建長寺にお勤めのこと。開山の縁起や武田家との関り、蕎麦切り発祥のお話、宝物館のご案内をいただきました。標高が高いこともあり、気温が低くやや寒かったです。遠く開けた風景は絶景でした。栖雲寺を11時50分に出発、山を下ること約10分のところにある景德院に12時に到着。

景德院(甲州市大和町田野)は曹洞宗の寺院。武田勝頼が、織田信長・徳川家康の連合軍との戦いに敗れ、天正10年(1582年)3月11日、勝成

(37 歳)、北条夫人(19 歳)、信勝(16 歳)が自刃し、約 50 名がこの地で最期を迎えた。その後、徳川家康によって勝頼及びその家臣一同の菩提を弔うため田野寺が建立され、後に武田勝頼の法号である「景德院」を寺号とした。



(景德院山門)

県の文化財に指定されており、勝頼の宝篋印塔、北条夫人・信勝の五輪塔が配置された立派なお墓、勝頼の辞世の句を記した石碑など見学した。

景德院を 12 時 40 分に出発、13 時 15 分恵林寺着。

到着後恵林寺道向かいにある信玄館で昼食及び買い物。



(信玄館)

昼食は甲州名物の「ほうとう」と「甲州ポークのしゃぶしゃぶ」をいただき、恵林寺を拝観。

恵林寺は武田信玄の菩提寺で元徳 2 年(1330 年)甲斐国の守護職であった二階堂貞藤が開山、臨済宗妙心寺派の寺院。快川招喜が燃え盛る山門の上で火中に身を投じ、「心頭滅却すれば火も自ずから涼し」と詠まれた三門を背景に全員で写真撮影。



(恵林寺三門)

通称赤門と言われる四脚門、本堂ではうぐいす廊下を通り、信玄を模して等身大に造られた不動明王の武田不動尊、国指定名勝となっている夢窓国師が築庭した庭園等を鑑賞。文化財も多くまた、紅葉もあって荘厳かつ景観の素晴らしい寺院でした。15 時 10 分恵林寺より帰路に。

ガイドさんの豊富な知識と楽しい語りで車内は終始和やかな雰囲気でした。また、帰りはほど良い疲れと、ほど良い酔いに余韻を楽しみながら、予定を 30 分程遅れて無事帰着。

武田家ゆかりの 3 寺院、冠雪の富士山、紅葉、ガイドさんの案内、どれも素晴らしくまた、後半は曇りがちであったが、天候にも恵まれ絶好のバス探訪であった。事故もなくクマに遭遇することもなく、全員無事に帰着できたのは何よりでした。

(中村猛次 記)

古文書を読む会 学習記録

開催日時 会場 テーマ	学 習 内 容	参加者
2025年 10月9日 (木) 金沢公会堂 第2会議室 箱根浴湯記	<p>今月は「箱根浴湯記」の25～28ページを精読した。</p> <p>投宿した江ノ島から、七里が浜を通して、鶴岡八幡宮を参詣している。その後、瀬戸神社を詣で、その近くにある千代本楼で宿をとっている。この間、金沢八景の景色の美しさを堪能しつつ、さらに能見堂も参拝している。このように各地の社寺を訪問して、社寺の来歴や故事にも詳しいことから、作者が信心深い人物であることを推察させる。</p>	12名
2025年 11月13日 (木) 金沢公会堂 第2会議室 箱根浴湯記	<p>今月は「箱根浴湯記」の29ページから最終頁の31ページまでを精読し、今年3月から始まったこの紀行文はすべて読了した。この作者の人物像として判明していることは、日記の最後に書かれている「御隠居71才の御年」だけである。作者は一体どういう人物だったのか、あれこれ想像してみるのも面白い。</p>	10名
2025年 12月11日 (木) 金沢区民セ ンター AB会議室 講師による 日本通史の 講義始まる (第一回)	<p>先月までに「箱根浴湯記」がすべて完了したので、今月からはこれまでの査読方式を変更し、真田講師が配布した資料に基づく講義形式となった。この学習方式の変更に合わせて、新たに2名が聴講することとなった。</p> <p>日本語の発祥と書き言葉について 話し言葉は神話時代にも使われていたが、七世紀の後半～八世紀に至り「書き言葉」としての日本語が、それまでの中国語の「純粹漢文」時代から「日本語読み漢文」に推移していく時期となり、これが宣命文、祝詞、万葉仮名、最終的に片仮名、平仮名発明にまで繋がった。</p> <p>時代がちょうど日本が外国と対等に伍していく時期(大宝律令の制定、国史の編纂等)に当たっており、この時期に和歌を万葉仮名を入れて読んだ柿本人麻呂の貢献度は極めて大きいと考えられる。</p>	11名

「ふれあいの道歩こう会」実施概要 No.50

代表 江口 正彦

通算 第210回 城山～葛城山

今回は、2015年に伊豆三山(城山・葛城山・発端丈山)ではちょっとキツイので城山～葛城山の二山に、且つ下りはロープウェイを使用することにした。城山と葛城山の山頂からの絶景が人気、初心者でも縦走可能な登山エリアです。また、富士パノラマパーク・碧テラスという山岳リゾートとして開発がなされて、2024年11月から山頂一帯のエリアに立ち入るには入場料(帰りのロープウェイ料付)が必要となった。

大仁駅前集合写真を撮り、一般道を歩き、狩野川を渡り、途中で準備体操をして、10:20に城山登山口に到着。ここには長嶋茂雄ランニングロードの看板(長嶋氏が、冬の合宿を大仁ホテルで行った、その際に利用したことで有名なコース)前から登山開始。やがてロッククライミングルートとハイキングルートとの分岐を過ぎそこそこ傾斜のあるきつい道を登ると、城山山頂と葛城山・発端丈山の分岐を、城山方向に向い11:40に山頂到着。山頂からは、目下に伊豆の国市の街と狩野川の蛇行、正面にゆるやかな山並み、左側に箱根山と金時山など、さらに左端には富士山が見えた。分岐まで戻り葛城山・発端丈山方面に向う、分岐からはしばらくなだらかな道を歩くと12:25に林道峠に到着(昼食タイム)。林道を少し歩くと道標がありそこから再度山道に入る、先ず「外山の観音様」があり、次に「樹齢五百年の老松あり」、「神島小富士」の看板があるが確認出来ず。「ふとりば/強い西風に人しばし佇む」の看板があるが難なく通過できた。すると、発端丈山と小坂みかん共同農園の分岐に到着、みかん園方面に行く。最初は結構きつい下りを慎重に下りきり、少し上ると林道に出て緩やかな道が続くと左側に富士山を見ることが出来た。さらに行くと、右側に「かつらぎ山登り口」の標識があり、山頂を目指し急登をのぼる。途中板状節理の竜神石が見あった。さらに登り葛城山山頂周りの柵沿いに入場ゲートに到着(葛城山登山道には多くのマツカゼソウが咲いていた)。インターフォンで入場人数を連絡し開門され山頂エリアに入場できました。山頂及び碧テラスからの展望は素晴らしく富士山、駿河湾などが眺められた。ロープウェイで山頂駅から山麓駅に15:19に着いた。山麓駅から約5分歩き伊豆の国市役所バス停に行きバスで長岡駅に無事到着。

実施日：2025年10月17日(金) 天候：晴れ

参加者：14名(男性9名 女性5名) コース所在地：静岡県 伊豆の国市

交通：往路 横浜駅熱海行発7:00⇒大船7:15大船8:18着熱海8:23発⇒8:35JR三島駅着
伊豆箱根鉄道乗換三島駅8:47発⇒9:16着大仁駅

復路 長岡駅15:50発⇒16:10着三島16:27発⇒16:41着熱海駅16:46発⇒大船着17:48

コースと時間：大仁駅(コース説明)9:30発⇒10:20着 城山登山口(途中で準備体操)10:30発⇒
11:10着 城山分岐11:20発⇒11:40着 城山山頂 11:45発⇒12:00着 城山分岐 12:05
発⇒12:25着 林道峠(昼食) 12:50発⇒13:50着 葛城山登山口 14:00発⇒14:40着葛城
山山頂 15:10発⇒ロープウェイ山麓駅15:20着伊豆の国市役所バス停⇒長岡駅



葛城山山頂碧テラス



城山分岐

通算 第211回 天覧山～多峯主山(とうのすやま)

今回は飯能駅から出発し飯能駅に戻る人気の低山ハイキングコースです。

天覧山から多峯主山へ縦走し、入間川のドレミファ橋から岩根橋までの「吾妻峡の河原を歩く散歩道」を歩きいろいろな奇岩や溪流の風景をお楽しめるコースです。また、紅葉も楽しめる良い時期の山行です。

天覧山は明治天皇の「天覧」に由来し、多峯主山は奥多摩や富士山が見え、経塚があるなど見どころが多い、コースです。

飯能駅を9:25にスタートし約10分で飯能河原に着き体操し能仁寺(天覧山ふもとにある古刹でモミジの紅葉も有名)に向けて出発。能仁寺では参道と境内のモミジの紅葉が色づいていた。能仁寺の参道脇の天覧山登山口より天覧山を目指し山道に入る。途中紅葉が見頃の天覧山中段そして十六羅漢を通り急坂を登ると天覧山(197m)に到着。山頂からは、かすかに富士山も見え、また都内の高層ビル群やスカイツリー等が眺められた。

天覧山山頂から多峯主山方面への下り階段では、モミジの紅葉トンネルと一面赤い落ち葉が迎えてくれた。縦走の山あいの道を歩き、最後に少し登ると約50分で多峯主山山頂(271m)に着き昼食タイムとした。頂上には経文を書いた石が(何と1万2千個!)埋められてる経塚があるなど、古くから霊山と崇められてきたようです。山頂からは、西武ドームや都内のビル群が見れた。天気外衣こともあり山頂は結構多くのハイカーで賑わっていた。

12:15山頂を出発し10分樹林の中を下ると御嶽八幡神社(通称「おんたけさん」)に到着。前岩と称される巨岩の上に社があり。産土神(うぶすながみ・生まれた土地の守護神)として信仰が厚いそうだ。。そこからは、勾配のきつい石段のつづれ折りが続いた後に、緩やかな野原のような所を約40分歩き八幡神社登山口に着く。周囲に黄コスモスが咲く小川を渡ると車道(県道28号)に出る。少し歩き永田大杉バス停を左折し人家の間、畑を抜け入間川の吾妻峡の、ドレミファ橋に到着。

ドレミファ橋は、円柱状の飛び石のことで、その飛び石を向い河原に渡る。紅葉が水面に写映る河原の吾妻峡遊歩道を歩く。遊歩道には赤岩、兎岩(うさぎいわ)、汽車淵等があり各々案内板が設置されていた。遊歩道の入口の中平河原手前を右に上がり車道に出る。そこからはひたすら飯能駅を目指し車道を歩く。出発時に体操をした飯能河原が見えてきた、さらに歩き割岩橋を渡り14:50に飯能駅南口にゴールした。

天覧山・多峯主山にてキバナコスモス、アキノタムラソウ、シャクチリソバ、オニタビフユ、タンキリマメ等の山野草を見ることができた。

実施日：2025年11月20日(木) 天候：晴れ 歩行時間：約3時間 歩行距離 5.7km

参加者：13名(男性9名 女性4名) コース所在地：埼玉県 飯能市

交通：往路 金沢文庫 6:55 発 ⇒ 7:13 着京急横浜駅、JR 横浜駅 7:24 発 ⇒ 8:04 着 JR 池袋駅、西武池袋駅 8:16 発 ⇒ 9:09 着飯能駅

復路：西武線飯能駅 15:14 発 ⇒ 16:03 着西武線池袋 ⇒ JR 池袋 16:23 発 ⇒ 17:00 着 JR 横浜駅 京急横浜駅 17:08 発 ⇒ 金沢文庫 17:24 着

コース：飯能駅 9:25 発 ⇒ 9:35 着飯能河原(体操後出発) 9:45 発 ⇒ 9:50 着中央公園 9:55 発 ⇒ 10:00 着能仁寺 10:20 発 ⇒ 10:35 着十六羅漢 10:40 着 ⇒ 10:45 着天覧山 10:50 発 ⇒ 11:40 着多峯主山(昼食) 12:15 発 ⇒ 12:25 着御嶽八幡神社 12:30 発 ⇒ 13:10 着八幡神社登山口 ⇒ 13:20 着吾妻峡・ドレミファ橋 13:40 発 ⇒ 13:50 着兎岩(うさぎいわ) ⇒ 14:10 着吾妻峡歩道橋入口 ⇒ 14:30 着割岩橋 ⇒ 14:50 着飯能駅



天覧山山頂



多峯主山山頂

通算 第212回 梅ヶ瀬渓谷

今回は、千葉の紅葉の名所である梅ヶ瀬渓谷です。

梅ヶ瀬渓谷は、梅ヶ瀬川が丘陵を侵食してきたため、渓谷の両側には高さ30m～50mある崖が続きます。新緑の季節には、深い緑と涼しげな流れと共に描かれる見事な渓谷美。紅葉の季節も、県内随一の紅葉の名所といわれるもみじ谷、日高邸跡など、季節ごとに変わる山の表情を見せてくれます。

交通手段としては、横浜からJRで五井駅そして小湊鐵道で養老渓谷駅に行くルートとしました。

養老渓谷駅前準備体操して10:15にスタートしすぐに駅のそばから絨毯のような紅葉の落ち葉の道となり、もみじの紅葉も見れました。先ず梅ヶ瀬川にかかる渓谷橋に着く、この橋からの眺めは素晴しかった。前半は畑などの自然の中車道を歩くが、所々に紅葉が見れた。約1.2km歩くと黒川沼に着く、ここを右折し約1.1km歩くと女ヶ倉(梅ヶ瀬渓谷沢ルートと大福山の分岐)に着き見晴らしの道・大福山方面に向う。ここからはちょっと急な上りとなり約2km歩くとめがくら橋に着く(途中農家の前で綺麗な鶏が4羽ほどいた)。橋を渡ると見晴らしの道の入り黄葉・紅葉が多くなり、道の両脇には黄・赤の落ち葉が絨毯のように覆われていた。約500M歩くと梅ヶ瀬渓谷駐車場ここでトイレタイム。やく300m歩き12:14日高誠實(のぶざね)顕彰碑に到着、顕彰碑前のベンチで昼食とした。

12:53 出発ここから梅ヶ瀬渓谷尾根ルートに入り、しばらく下ると突然素晴らしい紅葉のもみじ谷に入る。空は青く周りはモミジの紅葉、山道の両脇も紅葉の落ち葉で覆われている。下り終えると川沿いの道に出て飛び石を渡り少しくと分岐出る。分岐を右にいき川沿いに歩き(飛び石渡りも)約200mで旧日高邸跡に着く。

旧日高邸跡：明治の偉人、日高誠実が50歳を過ぎてから梅ヶ瀬書堂を開いた所で、大カエデが3本あり完全に落葉していたが、赤い絨毯のように一面が落葉で覆われていた。

旧日高邸跡を後にして、先程の分岐まで戻り、養老渓谷駅方面の沢ルートに入る。川のふちの細い道を歩いたり、ゴロゴロするかわらを歩いたり、飛び石伝いに川を渡ったり、浸食崖、渓谷美、崖と紅葉のコントラスト、映り込み等が楽しめる道です。13:50に梅ヶ瀬渓谷入口大駐車場到着、5分くらいで行きに通った女ヶ倉に着き、養老渓谷駅に向う。渓谷橋に来ると橋の脇のモミジが夕日を浴び素晴らしい紅葉でした。

15:42に養老渓谷駅に無事ゴールしたが、電車の待時間が約50分あり駅前の食堂で軽い打ち上げが出来た。老渓谷駅を16:32発の電車で帰路についた。この時期には、小湊鐵道の地元・市原を愛する人々によって彩られたイルミネーションが点灯され、養老渓谷駅～上総牛久駅でイルミネーションを見ることが出来ました。また、当日は満月の日にあたり、車窓から上り始めたスーパームーン(満月)も眺めることが出来ました。

実施日：2025年12月5日(金) 天候：晴れ 歩行時間：約4時間 歩行距離 約10.6km

参加者：8名(男性6名 女性2名) コース所在地：千葉県 市原市

交通：往路：金沢文庫駅 6:37 発 ⇒ 6:54 着 横浜駅 7:01 ⇒ 8:15 千葉駅 825 発 ⇒ 8:53 着 JR 五井駅
⇒ 小湊鐵道 五井駅 9:06 発 ⇒ 10:12 着 養老渓谷駅

復路：養老渓谷駅 16:33 発 ⇒ 17:39 着 小湊鐵道 五井駅 ⇒ 1JR 五井駅 17:51 発 ⇒ 18:11 着 千葉駅 18:12 発 ⇒ 19:28 着 横浜駅

コース：養老渓谷駅 10:25 発 → 10:44 黒川沼 → 女ヶ倉 → めがくら橋 → <見晴らしの道> → 12:14 着 日高誠實顕彰碑(昼食) 12:53 発 → <尾根ルート> → 13:30 着 日高邸分岐 → 13:40 着 日高邸跡 13:48 発 → 13:56 日高邸分岐 → <沢ルート> → 15:05 着 駐車場(架設トイレ) 15:10 発 → 女ヶ倉 → 15:42 着 養老渓谷駅



日高誠實顕彰碑前



旧日高邸跡

卒業 (The Graduate)

観賞日 2025年10月6日 上映時間 105分

【参加者：37名】

【概要】

制作 1967年 アメリカ

監督 マイク・ニコルズ

脚本 バック・ヘンリー

カルダー・ウィリングム

原作 チャールズ・ウェップ 『卒業』

音楽 ポール・サイモン、デブ・グルーシン

撮影 ロバート・サーティース

出演 ダスティン・ホフマン (ベンジャミン・ブラドック)、キャサリン・ロス (エレイン)
アン・バンクロフト (ミセス・ロビンソン)

【あらすじ】

アメリカ西海岸 LA。20歳のベンジャミン・ブラドックは東部の名門大学を優秀な成績で卒業した優等生。自宅で開かれたベンの卒業記念パーティー。ベンは父親の共同経営者ロビンソン氏の夫人から強引に誘惑される。一度は断わったベンであったが、その後夫人と関係を持ってしまう。夫人との情事にふけるベンだが、やがてロビンソン家の一人娘エレインがバークレー大学から帰ってくる。ベンは自分の親からはエレインに会うように言われ、ロビンソン夫人からは娘に会うなといわれる。

徐々に会った若い二人はすぐに恋に落ちる。しかし、ベンと母親との関係を知ったエレインはベンのもとを去る。エレインを諦められないベンは両親にエレインと結婚すると言い残し家を出る。エレインのいるバークレーに来たベンはストーカーのようにエレインを追い回す。当惑するエレインは迷った挙句、別の男性との結婚の道を選ぶ。結婚式場を聞き出し、そこまでエレインを追いかけたベンに対してエレインは・・・。

60年代後半を中心にハリウッドを席卷したアメリカン・ニューシネマの代表作。

【解説】

■ポイント

●サイモン&ガーファンクル

- ユダヤ系アメリカ人のポール・サイモンとアート・ガーファンクルによるフォーク・デュオ。二人は小学校からの友人。
- 1964年にデビュー、1970年に活動停止。その後ソロ活動。
- 代表曲：「ボクサー」(1969年)「明日にかけける橋」(1970年)
「コンドルは飛んで行く」(1970年)

●受賞 (1968年第40回アカデミー賞)

作品賞を含む7部門にノミネートされ、監督賞を受賞

■見どころ

●ベンは何から卒業したのか

大学、自分を縛っていたしがらみ (大人の常識、親の期待・・・)

●ラストの有名な花嫁略奪シーン

「改めるに遅すぎることはない」、やり直しのきく青春

●主題歌 映画よりも印象に残る、サイモンとガーファンクルの名曲の数々



スパイの妻

観賞日 2025年10月27日 上映時間 115分

【参加者：37名】

【概要】

制作 2020年

監督 黒沢清

脚本 濱口竜介、野原位、黒沢清

音楽 長岡亮介

撮影 佐々木達之助

出演 蒼井優（福原聡子）、高橋一生（福原優作）、東出昌大（津森泰治）、
坂東龍汰（竹下文雄）、笹野高史（野崎医師）、恒松祐里（福原家の女中・駒子）



【あらすじ】

第2次世界大戦前夜の1940年。神戸で貿易商を営む福原優作のもとに憲兵の津森泰治がやって来る。泰治は優作の妻聡子の幼馴染。泰治は優作に時節柄、英米人との付き合いには気をつけるよう忠告するが、自由人の優作は意に介さない。優作は甥で社員の文雄と満州に旅立つ。帰還時、優作の側には見知らぬ女がいたが、やがてその女の死体が発見される。退職した文雄のもとを訪れた聡子は文雄から封筒を渡され、優作以外のものには渡さないよう念押しされる。その封筒には、関東軍が細菌兵器開発のために行った人体実験の記録ノートとフィルムが入っており、それが外部に漏れれば国際問題にもなるものであった。しかし、優作の行動に疑念を抱いていた聡子はそれを憲兵の泰治に持ち込んでしまう。そのため文雄は拷問にあい、優作も嚴重注意処分となる。聡子の協力を得た優作は、聡子が撮ったノートのコピーを使い、優作と聡子が二手に分かれてそれぞれ記録とフィルムを別々にアメリカに持ち込み国際世論に訴えるという計画を立てる。いよいよ計画実行の日。聡子は計画通り商船にもぐりこむが、思わぬ密告によりフィルムは官憲の手に渡ってしまい……。

ヴェネツィア国際映画祭銀獅子賞受賞の戦時ミステリー。

【解説】

■ポイント

●黒沢清(1955年～)

神戸市出身。1980年立教大学社会学部卒業。80年代は助監督として映画作りを学び、90年代はテレビドラマやVシネマで活動。1997年の「CURE」で注目を浴びる。2005年、新設された東京芸大大学院の映像研究科教授に就任。監督と教授の二足の草鞋を履くようになる。カンヌ国際映画祭には度々出品し、「トウキョウソナタ」（2008年）、「岸辺の旅」（2015年）で、ある視点部門監督賞を受賞、2020年には本作で銀獅子賞を受賞している。



●受賞（第77回ヴェネツィア国際映画祭）

銀獅子賞（最優秀監督賞）：黒沢清

■見どころ

●主人公聡子の愛情

幼馴染の泰治や親類の文雄を裏切ってでも夫の優作との愛を貫く聡子

●二転三転するラストの展開

密告、逮捕、フィルムのすり替え、狂気の装い、船の沈没、渡米

踊る大捜査線 The Movie

観賞日 2025年11月10日 上映時間 119分

【参加者：36名】

【概要】

制作 1998年

監督 本広克行

脚本 君塚良一

音楽 松本晃彦

撮影 藤石修



出演 織田裕二（青島俊作）、柳葉敏郎（室井慎次）、深津絵里（恩田すみれ）、いかりや長介（和久平八郎）、ユースケ・サンタマリア（真下正義）、水野美紀（柏木雪乃）、神山繁（吉田副総監）、小泉今日子（日向真奈美）、北村総一郎（神田課長）、小野武彦（袴田健吾）

【あらすじ】

警視庁副総監の誘拐事件。その前後に起きた猟奇的殺人事件と湾岸警察署内の窃盗事件。警視庁の威信をかけて誘拐事件の指揮を執ることになったのは室井参事官。室井は湾岸署刑事の青島と親交のあるキャリア官僚。警察組織の頭脳に相当しながらも責任を取ろうとしない上層部と足腰に当たる下層部（所轄・現場）との狭間で苦しむ室井。一向に捜査が進展しないためついに公開捜査に踏み切る。苦境に立たされた室井をみた青島は猟奇的殺人事件の犯人として自主し、犯罪者心理に詳しい日向の助言にヒントを得ようとする。さらに、敬愛するベテラン刑事和久によるピンクの煙を手掛かりにして犯人の居場所を突き止める。漸く犯人にたどりついた青島だが、思いがけず犯人の母親に刺されてしまい・・・。

警察組織の矛盾をコミカルに描いたテレビドラマの劇場版。笑いあり、涙ありでとにかく面白い。

【解説】

■ポイント

●TV版「踊る大捜査線」の劇場版

1997年放送のフジテレビ系刑事ドラマ（当時はフジテレビの全盛時代）

警察組織の内部矛盾（キャリア制度・官僚主義・縦割り行政他）をコミカルに表現

●多くの対立軸

本庁と所轄、キャリアとノンキャリア、キャリア同士（東大卒と他大学卒）

本庁内での対立（刑事部と公安部）

●受賞（1999年第22回日本アカデミー賞最優秀賞）

7部門にノミネートされ、助演男優賞（いかりや長介）を受賞

■見どころ

●他作品のオマージュ（パクリ）

タイトル「踊る大捜査線」：「踊る大紐育」＋「夜の大捜査線」

ピンク色の煙：黒澤作品「天国と地獄」

小泉今日子扮する日向真奈美：「羊たちの沈黙」のレクター博士

コートを着用する青島刑事：「刑事コロンボ」のコロンボ刑事

ナイフで刺される青島刑事：「太陽にほえろ」のGパン刑事

●シリーズを象徴する名セリフ

「事件は会議室の中で起きているんじゃない。現場で起きているんだ」（青島俊作）

●軽快なテーマミュージック

アクションものの大ヒットシリーズ（「太陽にほえろ」「ルパン三世」「007」）に共通

ピンポン (Ping Pong)

観賞日 2025年11月24日 上映時間 114分

【参加者：31名】

【概要】

制作	2002年
監督	曾利文彦
脚本	宮藤官九郎
原作	松本大洋 『ピンポン』
音楽	二見裕志
撮影	佐光朗
出演	窪塚洋介（星野裕・ペコ）、ARATA（月本誠・スマイル） 中村獅童（風間竜一・ドラゴン）、サム・リー（孔文革・チャイナ） 大倉孝二（佐久間学・アクマ）、夏木マリ（オババ）、竹中直人（小泉丈） 荒川良々（大田キャプテン）、松尾スズキ（警官）



【あらすじ】

神奈川県にある片瀬高校卓球部の中心選手、星野裕（ペコ）と月本誠（スマイル）。二人は幼馴染の仲良しだが、性格は対照的。二人とも有り余る才能を持ちながら、ペコはサボりの常習犯で、スマイルは卓球を気晴らしと公言するクールぶり。インターハイ神奈川大会。スマイルは辻堂学院高校の孔、ペコは幼馴染で努力家の佐久間に、共に三回戦であえなく敗退する。この敗戦が転機になり二人は練習態度を改める。迎えた一年後の高校総体。猛練習の効果が出てペコは孔に雪辱を果たす。さらに負傷をおして勝ち進み、優勝候補筆頭の魁皇高校・風間をも打ち破る。スマイルも強豪を次々と下し決勝戦まで勝ち抜ける。決勝戦は両雄の一騎打ち。果たして勝敗の行方は・・・。

松本大洋原作の同名漫画の実写版。卓球を題材にした宮藤官九郎脚本の青春スポーツ群像劇。

【解説】

■ポイント

●宮藤官九郎（1970年～）

宮城県出身。本名は宮藤俊一郎。日本大学芸術学部中退。1990年劇団「大人計画」に演出助手として所属。1995年、「グループ魂」を結成。2000年のテレビドラマ「池袋ウエストゲートパーク」の脚本が出世作となる。その後も脚本家として、NHKの連続テレビ小説「あまちゃん」が大ヒット。NHK大河ドラマ「いだてん」の脚本を担当。映画脚本の代表作は本作以外に「GO」（2001年）、「謝罪の王様」（2013年）など。



●受賞（2003年第26回日本アカデミー賞最優秀賞）

8部門でノミネートされるが、新人俳優賞（中村獅童）のみ受賞

■見どころ

- CGを駆使した漫画チックだが迫力ある斬新な卓球シーン
- 対照的な主人公、ペコとスマイルの人物設定
- 群像劇らしい。個性あふれるキャラクターの集合
- 無名だった中村獅童（当時30歳）のとても高校生には見えない存在感

最高の人生のを見つけ方 (The Bucket List)

観賞日 2025年12月8日 上映時 97分

【参加者：44名】

【概要】

制作 2007年 アメリカ

監督 ロブ・ライナー

脚本 ジャスティン・ザッカム

音楽 マーク・シャイマン

撮影 ジョン・シュワルツマン

出演 ジャック・ニコルソン (エドワード)、モーガン・フリーマン (カーター)
ショーン・ヘイス (トーマス)、ビバリー・トッド (バージニア)



【あらすじ】

同じ病室に入るようになった二人の男性、勤勉で博識なカーターとその病院の経営者で大金持ちの実業家エドワード。カーターは愛妻家で信心深く、エドワードは四度の結婚歴がある無神論者。正反対の二人に唯一共通するのは、ともに末期のがん患者で余命宣告されているということ。ある日、カーターが死ぬ前にやりたいことを書き記した「棺桶リスト」に興味を持ったエドワードはそれを実行しようとカーターを誘う。そこから、二人の生涯最後の旅行が始まる。手始めにスカイダイビングで景気をつけて、男二人の豪華な世界旅行。エジプト、インド、中国、香港を回り、帰国の途に就く。直後にカーターの症状が悪化。残されたエドワードは「棺桶リスト」に書かれた未達成項目を次々に達成していき・・・。

二人の名優が演じる感動のハートフルドラマ。

【解説】

■ポイント

●ハリウッドを代表する名優の共演

◆ジャック・ニコルソン (1937年～)

ニュージャージー州出身。MGMの雑用係として働きながら1958年銀幕デビュー。「イージー・ライダー」でブレイクし、その後、オスカーを3回受賞した、アメリカ映画界最高の名優の一人。



◆モーガン・フリーマン (1937年～)

テネシー州出身。最初は舞台上で活躍し、その後、1980年に銀幕デビュー。代表作は「許されざる者」(92年)、「ショーシャンクの空に」(94年)、「ミリオンダラー・ベイビー」(05年)など



●リメイク作品「最高の人生のを見つけ方」

公開：2019年、監督：犬童一心、主演：吉永小百合、天海祐希

■見どころ

- 何から何まで正反対な二人の人物設定
- カーターの葬儀の場でエドワードが語ったこと
- 意外に気の利く秘書のトーマス

運び屋 (The Mule)

観賞日 2025年12月22日 上映時 116分

【参加者：36名】

【概要】

制作 2018年 アメリカ

監督 クリント・イーストウッド

脚本 ニック・シェンク

音楽 アルトゥロ・サンドバル

撮影 イブ・ベランジェ

出演 クリント・イーストウッド (アール・ストーン)、ブラッドリー・クーパー (バイツ捜査官)
ローレンス・フィッシュバーン (主任捜査官)、マイケル・ペーニャ (トレビノ捜査官)
アンディ・ガルシア (ラトン)



【あらすじ】

2005年、アメリカ中西部イリノイ州。退役軍人のアール・ストーンは娘のアイリスの結婚式をすっぽかし趣味の花の品評会に出席、一等賞を取り仲間の喝さいを浴びていた。

それから12年。今度は孫娘のジニーの結婚式に出席するが、別れた妻のメアリーやアイリスからさんざん非難を浴びる。そんな時、安全運転が自慢のアールに「走るだけで高額が稼げる」という話が持ち込まれ、借金に苦しんでいたアールはその話に飛びつく。何回か運ぶうち、積み荷が麻薬であることに気づくが、その後も、運び屋を続けるアールは借金を返済し、経済的にも豊かになり、家族からの信頼も取り戻す。運び屋としての功績を認められたアールは組織のボスからも慰労される。しかし、ボスが殺されると組織の方針も変わり、それにつれてアールの気持ちも変わり始める。仕事の最中にかかってきた電話。過去の失敗に懲りていたアールは組織の掟を破って、メアリーのもとに駆け付けるが・・・。

C・イーストウッド 88歳の監督・主演作品。実話に基づく映画。

【解説】

■ポイント

●C・イーストウッド監督・主演作品 (主なもの)

公開年	作品名	公開年	作品名
1973年	荒野のストレンジャー	1995年	マディソン郡の橋
1977年	ガントレット	2004年	ミリオンダラー・ベイビー
1983年	ダーティハリー4	2008年	グラン・トリノ
1992年	許されざる者	2018年	運び屋

●原題の Mule とは

頑固者、密売人・・・

■見どころ

●C・イーストウッド 88歳 (公開時) の存在感

●捜査官と密輸団との戦い

そのさなかの捜査官と運び屋。知らない同士の何気ない会話

●仕事と家族

男にとっての仕事と女にとっての家族

「浮雲俳句会」

抄録 NO.70

代表 中村 猛次

浮雲俳句会創立 20 周年俳句集の“わ”の会々報の掲載と共に、記念句会並びに記念懇親会を開催し、20 周年記念事業を成功裏に終えることが出来ました。9 月末を以て、これまで会の運営並びに今般の記念事業にご尽力頂いた小俣代表が退任をされ、また、大谷副代表が退会をされました。浮雲俳句会発展のためにご尽力いただいたお二人に感謝の意を表したいと思ひます。10 月から暫定的ではありますが、中村猛次が会の代表を大黒栄子が副代表を務めています。これまでの会運営の考え方、方法を踏襲しつつ年齢や体力に応じた参加のあり方など模索し、より明るく楽しい会にしたいと思ひます。

200 回句会 令和 7 年 10 月 26 日

会員選の特選句と自評

蓼虫の糸揺れ宇宙探りをり

あきえ

ようやく秋らしくなった日の朝、玄関の窓を開けて郵便受けに向かう私の目の前に蓼虫が！庭木の枝から長い糸を引き、僅かに揺れていました。我が家で蓼虫を見るのは初めてで、しばらく見とれていた時の句です。

そぞろ寒医師の診断待つ静寂

重九

妻が大腸の内視鏡検査を久しぶりに受けた。1 ヶ月後に医師からの検査結果の診断を聞くため付き添って病院を訪れた。晩秋のそぞろ寒さを感じる午後、予約時間を待つ間医師から何か言われそうで、妻との会話もなく黙って待っている時間は長かった。妻は「もう検査はしない」と言った。しかし、医師の診断は「特に問題なし」と言われほっとした午後でした。

朝露に閉ぢ込めらるる光かな

栄子

町なかの小さな公園では建物やフェンスが遮って朝日がなかなか届かない。ゆっくり歩いていると突然草むら一帯が明るくなった。おそらくは夜中に生まれたのであろう露が、一斉に宝石のように輝き出したのだ。夜の闇をじっと耐えていた露の、今まさに光に出会えた歓喜の姿を見たような気がした。

団栗のひとつ落ちたる音微か

十九

長い道のりであった。人通りの多い舗装の道を抜け、今ゆるやかな坂の山道へ入り独り歩きの時。騒音は消え自分の足音と木の葉のかすかなさやぎの中にある。木の実の落ちる音などに耳を貸さなかった時代から変わってきた我が身を意識する。微かな音にも気持ちの動く登り坂。

会員選の特選句と自評

日暮るるも一隅灯す石路の花 重九

冬は日の暮れるのが早い。日が暮れると他の花はその姿を消してしまうが、石路の花は庭の一隅に鮮やかな黄色の花を茎高くつけ、夕暮れの闇の中で、ひときわ目立って明かりを灯してくれ、ホッとした気分させてくれる。

人柄が温めてゆきし冬会議 祥代

ご縁があって出会った人々は数多ありますが、その中でもやわらかな安らぎを与えてくれる人がいます。そのような方に出会えた時は心が穏やかになります。そしてうれしい！！ 運命の神様の粋な計らいかなと思ったりします。そんな喜ばしいことを詠んでみました。

鳥たちのこゑ響き合ふ木守柿 和女

今年は柿がたくさん実りました。どこで見えていたのでしょうか、赤く熟した頃、様々な鳥たちがやって来て、賑やかな声が響いていました。寒くなると葉もすっかり散り、そろそろ柿も終わりです。いつも通り、最後は鳥たちのために実を残しましたが、たちまちなくなりました。今は静かな庭に戻ったところです。鳥も人も自然の恵みを分かち合う日々です。

風まかせ遊行寺坂の冬の蝶 二点

11月上旬“わ”の会、寺社を巡る会で藤沢にある遊行寺を拝観・参拝した。境内を拝観している時、小高く傾斜になった所を、ふわふわと力無く舞い上がる様に飛んでいる黄蝶がいた。年始の箱根駅伝のコースでも屈指の急坂と言われる「遊行寺の坂」を思い浮かべ、風にまかせ飛んでいる冬の蝶を重ね詠んでみた。

小春背に仕掛け絵本の読み聞かせ あきえ

先頃、鎌倉の仕掛け絵本の店に行き、世界中から集めた仕掛け絵本の精巧さに驚きました。一冊を手に取り、小春日を背にして読んでいると何より自分の心が満たされていきました。

神在の八重垣囲む外つ国語 あきえ

神無月(11月)には国中の神様が出雲大社に集まられると聞きます。古事記「やくもたつ出雲八重垣妻ごみに八重垣作る・・・」古人も今も、出雲に大勢の人が集う様子を詠みました。

毛繕ふたびの水輪や尾長鴨

栄子

「お、今年もやって来ている」。称名寺の尾長鴨である。雄の羽は殊の外美しく、見ていて飽きることがない。その鴨が毛繕うたびに新たな水輪が生まれ、追いかけるように輪が幾重にも広がって行く。心落ち着くひと時である。この夏、地球温暖化の影響であろうか、池が干上がったと聞いた。幸い消防車の放水で鯉や軽鴨などの生き物の命が守られたそうだ。もしも干上がったままであったなら、渡り鳥の尾長鴨もいつもの居場所が見つからず、どんなに戸惑ったことだろう、などと思ったのだった。

202回句会 令和7年12月21日

会員選の特選句と自評

繰り言をそつと飲み込寒夜かな

一翁

嫌なニュースばかり、老化も加わって愚痴ばかりの毎日です。これではいけないと少しだけ反省した句です。

老いたりな夏炉冬扇の年暮るる

十九

兼題の「冬」を見た時、平凡な季語としての冬では、使いたくないなと言う思いがつかった。あれこれ「字句」を思い浮かべていると、この「夏炉冬扇」が浮かんだ。この頃、老いの自分のしゃきっとしないことに、些かの嫌気も差していたことでもあり、「よし、これでいこう」と。それが決まると、句はするすると形になり、そのまま投句した。するとその時「あれ！小町ではないか」と気付いた。が、小町から貰った句でもなかったため、そのままにしたものである。

冬晴れや皇帝ダリア天を衝く

重九

わが庭に皇帝ダリアが咲いた。3メートルを超える真っ直ぐな茎の天辺に冬晴れの厳しく澄んだ青空を衝くかのように、青みがかった薄い紫色で直径 15～20 センチの大輪の花をつけました。気高い雰囲気は皇帝の様ですし、乙女の優しさも伝わります。ダリアは夏の季語ですが、皇帝ダリアは 11 月から 12 月にかけて咲きますが季語として定着していませんので念のため。

北国の苦悩よそめの日向ぼこ

二点

リビングの陽の入るソファで日向ぼこをしていると、今日も北海道や東北地方で熊の出没や被害に遭われた方の報道が聞こえてくる。さらに異常気象によるものか大変な雪の降り方をしている事や、三陸沖では大地震も発生したという。当該地域の皆さんの苦悩は計り知れないものがあると思うが、そうは思いつつも他人事としか受け取れていない自分があることを詠んでみた。

断崖に微動だにせぬ残り鷺

和女

鷺類は秋には南に去りますが、時には残り鷺として冬にもいることがあります。いつも通る公園の池。その崖の上には三溪園の樹木や建物があります。張り出した木に一羽の鷺がいました。背を丸め微動だにしません。何時間もそのまま、ケガでもしているかと気になります。しばらく見ておりましたが動きがありませんでした。

野の地蔵何思い聞く除夜の鐘

十九

「除夜の鐘」は、自分の好みの季語の一つであり、これまでもこれを使った句を何句か創っている。またも、その季語に頼ってしまった。「野の地蔵」とは、自我を吹聴せず、世の中に愛の眼差しを向けている存在と言う意味で用いたものである。今、世界は安らぎとは程遠い、不安定の大波の中にあるような時代となっている。ひっそりと、愛の眼差しで世を見つめている野の地蔵は、除夜の鐘をいかなる思いで聞いているのであろうか。

木の葉散る杜の装ひ七つ色

重九

わが家の2階から小柴の鎮守である熊野神社の杜が眼前に広がっています。太陽が昇ってくる様子、杜の紅葉の様子を眺めるのが毎日の楽しみです。今年は紅葉が遅れましたが、12月に入って急速に紅葉が進み、全山紅葉に染まり、陽に照り映える様は虹の中にいるようですし、虹そのものです。「虹(夏の季語)」を避け、虹の様子を表現するため、七色を七つ色と表記しましたが、すんなり読んでいただけただしょうか。

パソコンを使いこなす会 実施報告【23】

2025年10月～12月

2025年度 第13回分科会

- 日時：2025年10月7日（火）9：30～12：00
- 場所：八景コミュニティハウス
- 内容：WORD 講座 — 段落 —
 1. フォントの編集
 2. 図形の作成
 3. リーダー線の作成
- 参加者：14名 + Z4名
- テキスト：パソコンを使いこなす会_2025年10月7日_テキスト



このQRコードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

2025年度 第14回分科会

- 日時：10月21日（火）9：30～12：00
- 場所：八景コミュニティハウス
- 内容：PowerPoint 講座(2) — Power Point で動画作成 —
 1. PowerPoint を立ち上げ取り込む写真を順番に入れる
 2. 画面の自動切り替えを設定（タイミングと画面切り替え）
 3. タイトルとサブタイトルにアニメーションをつける
 4. 効果音 音楽を入れる
 5. BGM の調整（長さをトリミング）
- 参加者：14名 + Z1名
- テキスト：パソコンを使いこなす会_2025年10月21日_テキスト



このQRコードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

2025年度 第15回分科会

- 日時：11月4日（火）9：30～12：00
- 場所：八景コミュニティハウス
- 内容：EXCEL 講座 － 請求書作成 －
 1. 請求書のフォーム、商品リストを作成する
 2. 「単価」×「数量」の式を入力する
 3. 小計を求める
 4. 消費税を求めて端数を切り捨てる
 5. 税込合計金額を求める
 6. 商品名と単価を自動で表示する
 7. エラー値の表示を消す
 8. 金額に「円」を付けて表示する
 9. 日付を和暦で自動表示する
- 参加者：14名 + Z2名
- テキスト：パソコンを使いこなす会_2025年11月4日_テキスト



このQRコードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

2025年度 第16回分科会

- 日時：11月18日（火）9：30～12：00
- 場所：八景コミュニティハウス
- 内容：Internet 講座 － Google マップのタイムライン －
 1. 事前準備（確認）
 2. 日ごとの行動を見る
 3. 訪れた場所一覧を見る
 4. 「タイムライン」の修正
 5. Google マップのタイムラインの設定
 - A. 位置情報履歴をオンにする
 - B. 位置情報の精度を上げる
- 参加者：17名



このQRコードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

2025年度 第17回分科会

- 日時：12月2日（火）9：30～12：00
- 場所：八景コミュニティハウス
- 内容：スマホ 講座 ― 年賀状作成 ―
 1. 「はがきデザインキット」をダウンロード
 2. デザインを選択する
 3. メッセージの追加
 4. スタンプを挿入
 5. 保存後 SNS(ライン) で送る
 6. 端末に画像を保存する場合
- 参加者：18名 + Z1名
- テキスト：パソコンを使いこなす会_2025年12月2日_テキスト



この QR コードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

2025年度 第18回分科会

- 日時：12月16日（火）9：30～12：00
- 場所：八景コミュニティハウス
- 内容：EXCEL 講座 ―印刷・関数―
＜印刷ワザ＞
 1. 「印刷」画面各部の名称と役割
 2. 用紙の向きとサイズを指定し印刷する
 3. 縮小して1ページに印刷する
 4. 余白を調整する
 5. 余白に日付やページ番号を入れる
 6. 改ページを挿入してページを送る
 7. 見出しを常に印刷する
＜関数の仕組み＞
 8. 関数とは？
 9. 関数の書式を理解する
 10. 「数式」タブから関数を入力する
 11. セルに関数を直接入力する
- 参加者：18名
- テキスト：パソコンを使いこなす会_2025年12月16日_テキスト



この QR コードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

野々山 隆幸さん 叙勲受章

“わ”の会会員の野々山隆幸さんが、令和7年秋の叙勲において「瑞宝中綬章」を受章されました。心よりお祝い申し上げます。この栄えある受章の記念にと野々山さんにお祝いし、寄稿頂きました。

令和7年秋の叙勲「瑞宝中綬章」を受章して

野々山 隆幸

・横浜市立大学

1971年（昭和46年）3月に一橋大学大学院商学研究科修士課程修了後、横浜市立大学商学部助手、専任講師、助教授を経て、1989年（平成元年）4月に教授となりました。2012年（平成24年）3月に退職し、同年4月に横浜市立大学名誉教授となりました。

横浜市立大学には、41年間在籍し、経営情報論の教育・研究をしてきました。先輩・後輩、多くの教え子に恵まれました。特に、大学院野々山研究室から多数の大学教員を輩出したことが誇りです。そして、オフィス・オートメーション学会（現日本経営情報学会）や日本経営システム学会など多くの学会で常任理事等に就きました。文部省（現文部科学省）教科用図書検定調査審議会委員などを務め、「商業教育における学習指導要領の変遷と情報処理教育の推進」を執筆するとともに、指導者に対する講義を担当し、商業教育の発展に努めました。現在、横浜市立大学エクステンション講座を担当しています。

・叙勲

2024年（令和6年）10月末、横浜市立大学事務局から令和7年秋の叙勲候補者として、文部科学省に推薦して良いかの問い合わせがありました。叙勲の1年前のことです。推薦の承諾後、主要業績の確認、役員等に就任した学会・団体の確認など、横浜市立大学事務局の多大なご協力に厚く感謝しています。

2025年（令和7年）9月、横浜市立大学事務局に、文部科学省を通じて内閣府より「瑞宝中綬章」受章の内示がありました。10月、閣議決定、天皇陛下の御裁可を経て正式決定となり、文部科学省から正式通知がありました。11月3日、令和7年秋の叙勲受章者が公表され、「瑞宝中綬章」の受章が新聞朝刊に掲載されました。11月12日、妻とともに、ホテルニューオータニにて勲章伝達式、皇居宮殿豊明殿にて拝謁の栄を賜りました。ドレスコードがあり、モーニングと色留めそでに対応しました。

・太極拳

叙勲の多くが、生存者叙勲です。2017年（平成29年）3月の愛知産業大学退職後、朝の公園太極拳に参加して健康維持に努めています。そして、週に一度、太極拳教室に参加しています。2025年（令和7年）、日本武術太極拳連盟「初段」に合格しました。

・“わ”の会

2023年（令和5年）5月14日の学習会：『「イトーヨーカドー」「デニーズ」「セブンイレブン」創業の物語』、横浜市立大学カメラアホールで講演しました。また、新入会員の感想文として、「“わ”の会に入会して二年」を執筆しました。今後とも、“わ”の会の皆様と、仲良く、楽しく、お付き合いしたいと思っています。どうぞ、よろしく願いいたします。

行事予定

2026年3月～5月の予定

注：表中の「CC」は「地区センター」の略

	3月	4月	5月
学習会	なし	なし	5月9日(土) 開催場所：能見台CC 定期総会 9:30～10:45 学習会 10:45～11:45 テーマ：江戸城石垣の故郷
寺社を巡る会	3月5日(木) 10:00 集合場所：小田急片瀬江ノ島駅 テーマ：龍伝説が眠る江の島弁財天への旅 訪問先：片瀬江ノ島駅(集合)～洲鼻通り石碑～地下道浮世絵～江ノ島弁天橋～青銅の鳥居～旧岩本院(岩本楼)～杉山検校福石～辺津宮～泰安殿～中津宮(昇殿)～奥津宮～竜宮(わだつみのみや)～杉山検校墓～江の島バス停前(解散)	4月2日(木) 10:00 集合場所：京急逗子葉山駅 テーマ：逗子葉山に三浦一族の伝承を探る 訪問先：逗子葉山駅(集合)～六代御前墓～富士見橋～旗立山～海宝寺～須賀神社～葉山マリーナ(休憩)～清浄寺～相福寺～長徳寺～森戸神社～森戸神社バス停(解散) 4月10日(金) 10:00(受付9:30) 集合場所：金沢公会堂多目的室 テーマ：令和7年度(2025)定時総会 総会資料に基づく報告、提案、審議、承認	未定
古文書を読む会	3月12日(木) 10時～12時 場所：未定 テーマ：素人が見た日本通史	4月9日(木) 10時～12時 場所：未定 テーマ：素人が見た日本通史	5月14日(木) 10時～12時 場所：未定 テーマ：素人が見た日本通史
ふれあいの道歩こう会	3月19日(木)予備日20日(金) カタクリを見に行こう草戸山 東京都 神奈川県	4月16日(木) 予備日17日(金) 御岳山・日の出山 東京都青梅市 日の出町	5月21日(木) 予備日22日(金) 新緑の奥多摩 高水三山縦走 東京都 奥多摩町
懐かしの映画を観る会	3月9日(月) 金沢地区CC 12:15～ 海街 Diary 3月23日(月) 金沢CC 12:15～ 用心棒	4月13日(月) 金沢CC 12:15～ スタンド・バイ・ミー 4月27日(月) 金沢CC 12:15～ ET	5月11日(月) 金沢CC 12:15～ 哀愁 5月25日(月) 金沢CC 12:15～ 老人と海
浮雲俳句会	3月22日(日) 10:00～ 第205回句会 会場：晴嵐かなざわ 課題：当季雑詠3句、兼題1句	4月26日(日) 10:00～ 第206回句会 会場：晴嵐かなざわ 課題：当季雑詠3句、兼題1句	5月24日(日) 10:00～ 第207回句会 会場：晴嵐かなざわ 課題：当季雑詠3句、兼題1句
パソコンを使いこなす会	3月3日(火) 八景コミハ EXCEL 講座 － グラフ作成 － 3月17日(火) 八景コミハ Internet 講座 － 音声入力翻訳アプリ － 9:30～12:00	4月7日(火) 八景コミハ WORD 講座 － パンフレット① － 4月21日(火) 八景コミハ WORD 講座 － パンフレット② － 9:30～12:00	5月5日(火) 八景コミハ LINE 講座 － 基本見直し及び便利機能 － 5月19日(火) 八景コミハ AI 検索 講座 － 各種 AI の比較 － 9:30～12:00

連絡先

- ・学習会 045-785-6151 (鶴岡) ・寺社を巡る会 090-1840-0916 (横山) ・古文書を読む会 045-784-4900 (真田)
- ・ふれあいの道歩こう会 080-6755-1473 (江口) ・懐かしの映画を観る会 045-785-6151 (鶴岡)
- ・浮雲俳句会 045-786-4040 (中村) ・パソコンを使いこなす会 090-9375-9459 (橘)

編集後記

還暦の時始めた5年に1度の中学同期会が昨年10月開かれたので帰省した。昭和100年、戦後80年と節目の年になった昨年は、我々が中学を卒業してから60年でもあった。団塊世代の末に生まれた同学年生は5クラスで216人いたが、その内の2割超が出席した。一方既に亡くなった人はそれを上回るとのことで、幸運な出席者達は再会を喜び合った。

そこで聞いて驚いたのは、当時と同じ学区の現在の中学校では生徒数が3学年合わせても71人だとか。なんと我々の時代の9分の1ではないか。少子化がここまで進んでいるとは！その凄まじい現実に驚愕し寂しさを覚えた。

慰めてくれたのは、生まれ育った街を徘徊する私に、どの店舗や施設でも対応が丁寧で優しくかったこと。インバウンド対応で忙しくなったためか多くの地域の接客マナーが雑になってきたと嘆いていた私には、地元で昔から伝わる「おもてなしの心」がきちんと引継がれていると感じられ、嬉しかった。 【星野六夫 記】

発行日	2026年2月14日								
発行月	年4回発行(2、5、8、11月)								
発行者	金沢区生涯学習“わ”の会								
編集長	星野 六夫								
編集委員	<table border="0"> <tr> <td>浜辺 隆文</td> <td>吉武 惇二</td> </tr> <tr> <td>熊谷 信雄</td> <td>橋本 啓治</td> </tr> <tr> <td>中村 猛次</td> <td>橘 博章</td> </tr> <tr> <td>福嶋 恵美</td> <td></td> </tr> </table>	浜辺 隆文	吉武 惇二	熊谷 信雄	橋本 啓治	中村 猛次	橘 博章	福嶋 恵美	
浜辺 隆文	吉武 惇二								
熊谷 信雄	橋本 啓治								
中村 猛次	橘 博章								
福嶋 恵美									